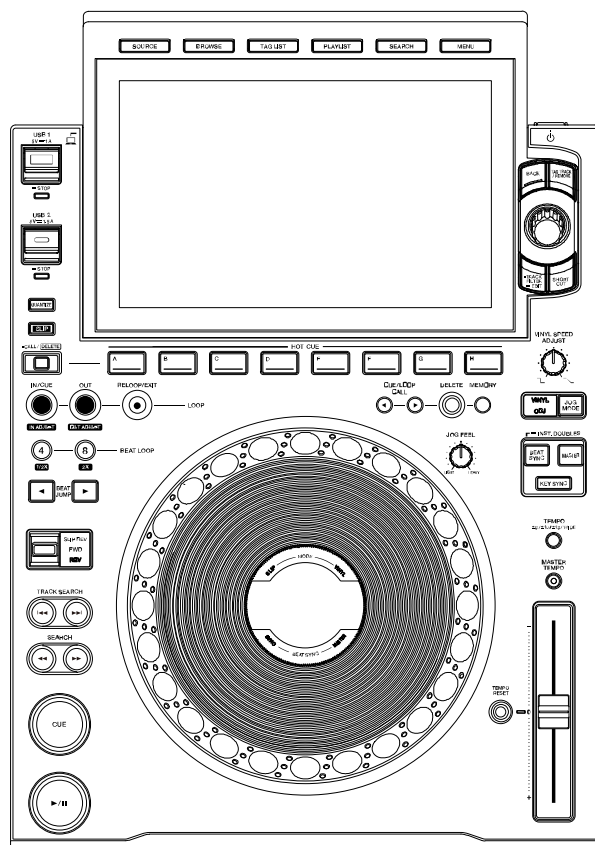




マルチプレーヤー

CDJ-3000X

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

もくじ

はじめに	6
本書の見かた	6
同梱品を確認する	6
マニュアルを閲覧する	7
本機の概要	8
PRO DJ LINK	8
rekordbox for Mac/Windows	8
rekordbox for iOS/Android	10
システム概要	11
各部の名称	13
コントロールパネル	13
本体フロント部	17
本体リア部	17
本体表示部	19
ジョグ表示	27
画面の基本操作	28
接続（基本スタイル）	29
インターネット接続	29
PRO DJ LINK 接続	32
PC/Mac の準備	37
ドライバソフトウェアのインストール	37
rekordbox CloudDirectPlay	39
rekordbox CloudDirectPlay の準備をする	40
rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイス	44
インターネット接続を確認する	46
rekordbox CloudDirectPlay へログインする	46

rekordbox CloudDirectPlay からログアウトする	49
rekordbox CloudDirectPlay による楽曲ファイルの再生	50
ストリーミングサービス (Beatport、TIDAL) と組み合わせる	50
StreamingDirectPlay.....	51
Beatport Streaming へログインする	51
TIDAL へログインする	52
ストリーミングサービス (Beatport、TIDAL) による楽曲ファイルの再生 ...	53
メディアの挿入と取り外し.....	54
USB デバイス.....	54
選曲.....	55
ソースを選択する	55
トラックを選択する	55
トラックを探す	56
ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview).....	60
HISTORY を使う.....	61
タグリストを使う	62
プレイリスト画面を表示する	66
再生.....	69
再生 / 一時停止する	69
全体波形上の触れた位置から再生する	69
逆再生する	70
再生中の基本操作	70
再生速度を調整する (テンポコントロール)	71
音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)	71
再生中以外の音声をモニターする (TOUCH CUE).....	72
ジョグの操作	73
操作モードを切り替える	73
ジョグを操作する	73
ジョグの回転負荷を調整する	74

再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)	74
キュー	75
キューポイントを設定する	75
キューポイントに戻る	75
キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)	76
キューポイントを保存する	76
保存したキューポイントを呼び出す	76
保存したキューポイントを削除する	77
オートキューを設定する	77
ループ	78
ループを設定する	78
ループポイントを微調整する	80
ループの長さを調整する	80
アクティブループを使う	81
ループ再生を解除する	81
エマージェンシーループ	81
ループポイントを保存する	82
保存したループポイントを呼び出す	82
保存したループポイントを削除する	82
ホットキュー / ゲートキュー	83
ホットキューを設定する	83
ホットキューから再生する	84
ホットキューからゲート再生する	84
ホットキューを削除する	85
ホットキューを呼び出す	85
ホットキューバンクリストを使う	86
クオンタイズ	87
クオンタイズを使う	87
ビートジャンプ / ループムーブ	88

ビートジャンプ/ループムーブを使う	88
スリップ	90
スリップモードを設定する	91
ビートシンク	92
ビートシンクを使う	92
マスタープレーヤーを変更する	93
インスタントダブルスを使う	93
ビートグリッド.....	94
ビートグリッドを調整する	94
キーシンク.....	95
キーシンクを使う	95
キーシフト.....	96
キーシフトを使う	96
DJ ソフトウェアを使う.....	97
DJ ソフトウェアを操作する	98
設定.....	99
UTILITY 設定を変更する	99
UTILITY 設定項目	100
無線 LAN (Wi-Fi®) 接続	107
SHORTCUT 画面から設定を変更する	109
SHORTCUT 画面の設定項目	110
My Settings を記録メディアに保存する	112
記録メディアから My Settings を読み込む	113
スペック	115
その他.....	117
故障かな？と思ったら	117
液晶画面について	119
商標および登録商標について	120
著作権	121

はじめに

本書の見かた

- このたびは、AlphaTheta 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面、およびモバイルデバイス画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。（例：[ファイル]、[CUE] ボタン）
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

同梱品を確認する

- マルチプレーヤー × 1
- 電源コード × 1
- 保証書（一部の地域）* × 1
- 音声ケーブル（デジタル） × 1
- 音声ケーブル（アナログ） × 1
- LAN ケーブル × 1
- クイックスタートガイド × 1
- 使用上のご注意 × 1

* 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

マニュアルを閲覧する

❖ rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「イン트로ダクション」は、rekordbox for Mac/Windows のセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordbox for Mac/Windows の操作方法を記載しています。

下記のrekordboxサイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

本機の概要

PRO DJ LINK

PRO DJ LINK対応のDJミキサーや、rekordboxがインストールされているPC/Macと本機をLANケーブルで接続すると、PRO DJ LINK機能を利用できます。

PRO DJ LINKには、記録メディアを使用する「USB Export」と、rekordboxがインストールされているPC/Macやモバイルデバイスを使用する「rekordbox LINK EXPORT」があります。

⇒ 接続：「[PRO DJ LINK接続](#)」（32 ページ）

rekordbox for Mac/Windows

rekordbox for Mac/Windowsは楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJアプリケーションです。

- rekordbox for Mac/Windowsの楽曲管理機能をEXPORTモードと呼びます。EXPORTモードで管理された楽曲ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れたDJパフォーマンスを実現できます。
- rekordbox for Mac/WindowsのDJパフォーマンス機能をPERFORMANCEモードと呼びます。本機をrekordbox for Mac/WindowsがインストールされたPC/Macに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能を使用することができます。この仕組みをHardware Unlockと呼びます。
- Hardware Unlockの対象機能については、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアをダウンロードしてください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windowsの最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com/system

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。

- PC/Macの省電力設定などによっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でrekordbox for Mac/Windowsを使用してください。

OneLibrary

本機は、OneLibraryにのみ対応しています。

USBデバイスでOneLibrary以外のライブラリを使用する場合は、下記の手順でOneLibraryに変換してから本機で使用してください。

- 1 最新のrekordbox for Mac/Windowsを起動する
- 2 USBデバイスを接続する
- 3 画面にしたがって、変換を実行する

- 詳細については、下記のFAQからOneLibrary利用ガイドを参照してください。

rekordbox.com/support/faq/onelibrary-7/

rekordbox for iOS/Android

rekordbox for iOS/Android がインストールされているモバイルデバイスを接続すると、rekordbox for iOS/Android で管理している楽曲ファイルを本機で再生できます。

- rekordbox for iOS/Android との接続については、下記のサイトから FAQ を参照してください。

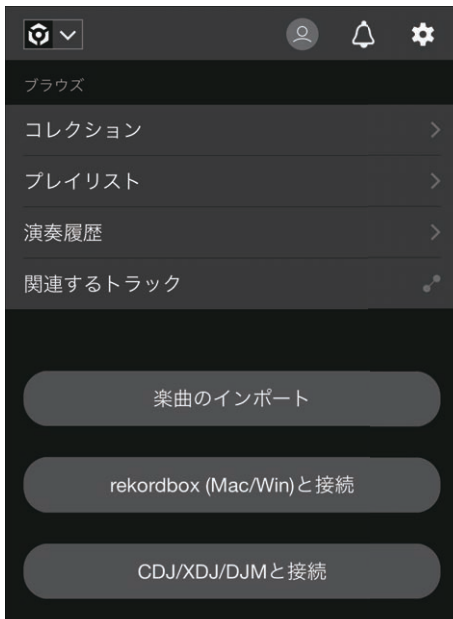
iOS:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units/#faq-q100037

Android:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units-android/#faq-q110039

- 本機では ver.4.0.0 以降で搭載されている DJ パフォーマンス用の機能は使用できません。下記の画面で **[CDJ/XDJ/DJM と接続]** を選択して PRO DJ LINK 接続で使用してください。



システム概要

対応ソース

本機は以下のソースに対応しています。

- － USB デバイス
- － モバイルデバイス
 - ⇒ [「rekordbox for iOS/Android」](#) (10 ページ)
- － PC/Mac
 - ⇒ [「PC/Macの準備」](#) (37 ページ)

❖ USB デバイスについて

USB デバイスは、以下に対応しています。

フォルダー階層	最大 8 階層まで (8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません。)
最大フォルダー数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるフォルダーは表示できません。)
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるファイルは表示できません。)
対応ファイルシステム	FAT16、FAT32、exFAT、HFS+ (NTFS には対応していません。)

- USB マスストレージクラスの USB デバイスに保存されている楽曲ファイルを再生できます。
- フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。
- 外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使用できません。
- 本機と USB デバイスを接続する場合は、USB ハブは使用できません。
- 本機との接続により、お客様が USB デバイスに保存したデータが損失、またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本機のUSBデバイス挿入口に許容量以上の電流が流れるとUSBインジケーターが点滅し、USBデバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すには、本機に接続されたUSBデバイスを取り外してください。また、過電流が検出されたUSBデバイスは使用しないでください。
上記の方法で正常な状態に戻らない（通信しない）ときは、本機の電源を入れ直してください。
- USB端子へUSBデバイスを接続する際は、延長ケーブルを使用しないでください。延長ケーブルを使用すると、通信が途切れることがあります。

対応ファイルフォーマット

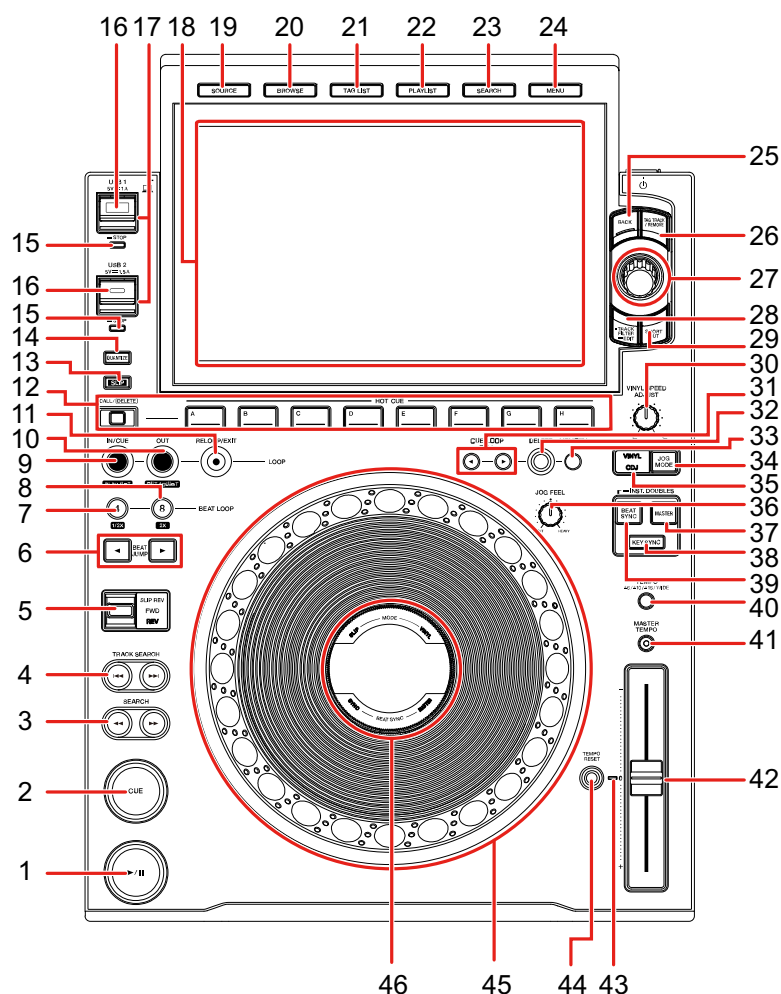
本機は以下のフォーマットの楽曲ファイルに対応しています。

種類	拡張子	フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング 周波数
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3		32 ~ 320 kbps	
AAC	.m4a、 .aac、 .mp4	MPEG-4 AAC LC MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 ~ 320 kbps	44.1 kHz、 48 kHz
WAV	.wav	WAV			
AIFF	.aif、 .aiff	AIFF			44.1 kHz、 48 kHz、
Apple Lossless	.m4a	ALAC	16bit、24bit	—	88.2 kHz、 96 kHz
FLAC	.flac、 .fla	FLAC			

- 対応フォーマットのファイルでも再生できないことがあります。

各部の名称

コントロールパネル



1. ▶/II ボタン
⇒ 「再生/一時停止する」 (69 ページ)
2. CUE ボタン
⇒ 「キューポイントを設定する」 (75 ページ)
3. SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン
⇒ 「再生中の基本操作」 (70 ページ)

4. **TRACK SEARCH** ◀◀, ▶▶ ボタン
⇒ 「再生中の基本操作」 (70 ページ)
5. **SLIP REV, FWD, REV** レバー
逆再生、またはスリップリバースをしているときに点灯します。
⇒ 「逆再生する」 (70 ページ)
⇒ 「スリップ」 (90 ページ)
6. **BEAT JUMP** ◀, ▶ ボタン
⇒ 「ビートジャンプ/ループムーブを使う」 (88 ページ)
7. **4 BEAT LOOP (1/2X)** ボタン
⇒ 「4 BEAT LOOP (1/2X) ボタンを使う」 (78 ページ)
⇒ 「ループを半分の長さにする」 (80 ページ)
8. **8 BEAT LOOP (2X)** ボタン
⇒ 「8 BEAT LOOP (2X) ボタンを使う」 (79 ページ)
⇒ 「ループを2倍の長さにする」 (80 ページ)
9. **LOOP IN/CUE (IN ADJUST)** ボタン
⇒ 「再生中」 (75 ページ)
⇒ 「手動設定」 (78 ページ)
⇒ 「ループポイントを微調整する」 (80 ページ)
10. **LOOP OUT (OUT ADJUST)** ボタン
⇒ 「手動設定」 (78 ページ)
⇒ 「ループポイントを微調整する」 (80 ページ)
11. **LOOP RELOOP/EXIT** ボタン
⇒ 「ループ再生を解除する」 (81 ページ)
⇒ 「ホットキューから再生する」 (84 ページ)
12. **HOT CUE (CALL/DELETE、A～H)** ボタン
⇒ 「ホットキュー/ゲートキュー」 (83 ページ)
⇒ 「スリップ」 (90 ページ)
13. **SLIP** ボタン
⇒ 「スリップモードを設定する」 (91 ページ)
14. **QUANTIZE** ボタン
⇒ 「クオンタイズ」 (87 ページ)
15. **USB1、USB2 STOP** ボタン
⇒ 「USBデバイスを取り外す」 (54 ページ)
16. **USB1、USB2** デバイス挿入口

17. USB1、USB2 インジケーター

USB デバイスと通信しているときに点滅します。

18. 本体表示部

⇒ 「本体表示部」 (19 ページ)

19. SOURCE ボタン

[SOURCE]画面を表示します。

20. BROWSE ボタン

BROWSE画面を表示します。

21. TAG LIST ボタン

[TAG LIST]画面を表示します。

22. PLAYLIST ボタン

PLAYLIST画面を表示します。

23. SEARCH ボタン

SEARCH画面を表示します。

24. MENU ボタン

⇒ 「設定」 (99 ページ)

25. BACK ボタン

⇒ 「階層に戻る」 (28 ページ)

26. TAG TRACK/REMOVE ボタン

⇒ 「タグリストにトラックを追加する」 (63 ページ)

27. ロータリーセレクトター

⇒ 「ロータリーセレクトターで操作する」 (28 ページ)

28. TRACK FILTER/EDIT ボタン

⇒ 「TRACK FILTER を使って探す」 (58 ページ)

29. SHORTCUT ボタン

[SHORTCUT]画面を表示します。

30. VINYL SPEED ADJUST ノブ

⇒ 「再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)」 (74 ページ)

31. CUE/LOOP CALL ◀, ▶ ボタン

⇒ 「保存したキューポイントを呼び出す」 (76 ページ)

⇒ 「保存したループポイントを呼び出す」 (82 ページ)

32. DELETE ボタン

⇒ 「保存したキューポイントを削除する」 (77 ページ)

⇒「保存したループポイントを削除する」(82 ページ)

33. MEMORY ボタン

⇒「キューポイントを保存する」(76 ページ)

⇒「ループポイントを保存する」(82 ページ)

34. JOG MODE ボタン

⇒「操作モードを切り替える」(73 ページ)

35. VINYL/CDJ インジケーター

選んでいるモード(VINYL/CDJ)のインジケーターが点灯します。

⇒「操作モードを切り替える」(73 ページ)

36. JOG FEEL ノブ

⇒「ジョグの回転負荷を調整する」(74 ページ)

37. MASTER ボタン

⇒「ビートシンクを使う」(92 ページ)

38. KEY SYNC ボタン

⇒「キーシンク」(95 ページ)

39. BEAT SYNC/INST.DOUBLES ボタン

⇒「ビートシンクを使う」(92 ページ)

⇒「インスタントダブルスを使う」(93 ページ)

40. TEMPO $\pm 6/\pm 10/\pm 16$ /WIDE ボタン

⇒「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(71 ページ)

41. MASTER TEMPO ボタン

⇒「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(71 ページ)

42. TEMPO スライダー

⇒「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(71 ページ)

43. TEMPO RESET インジケーター

TEMPO RESET をオンにすると点灯します。

44. TEMPO RESET ボタン

⇒「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(71 ページ)

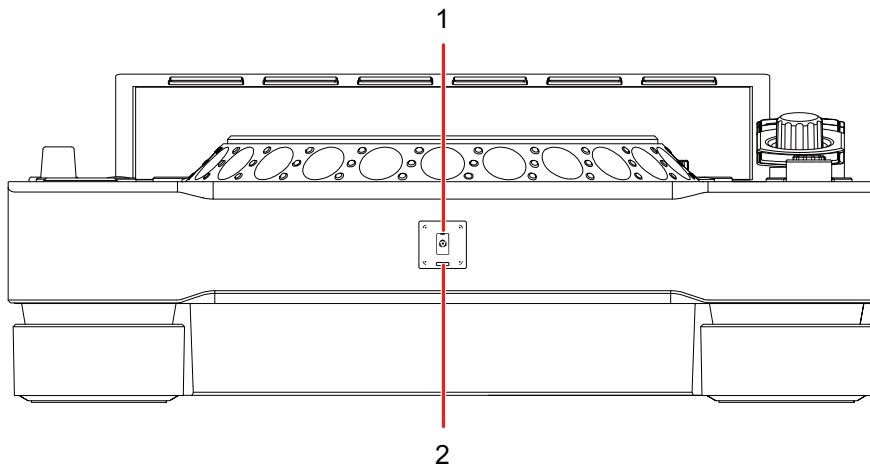
45. ジョグ、JOG RING ILLUMINATION

⇒「ジョグを操作する」(73 ページ)

46. ジョグ表示部

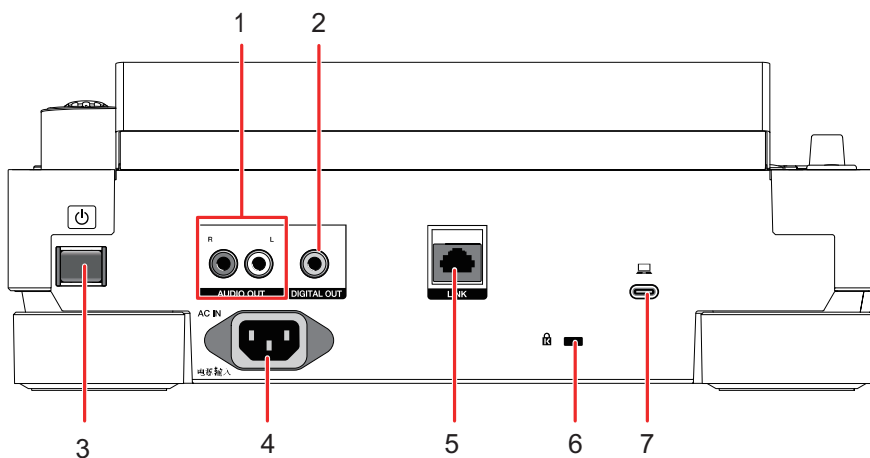
⇒「ジョグ表示」(27 ページ)

本体フロント部



1. **NFC ログインタッチエリア**
⇒ 「NFC ログイン」 (48 ページ)
2. **NFC ログインインジケータ**

本体リア部



1. **AUDIO OUT L/R 端子**
付属のアナログ音声ケーブルを接続します。
2. **DIGITAL OUT 端子**
付属のデジタル音声ケーブルを接続します。

3. オンボタン

本機の電源のオン/オフを切り替えます。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

4. AC IN

付属の電源コードで、コンセントと接続します。

5. LINK 端子

付属のLAN ケーブルを接続します。

6. ケンジントンロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着します。

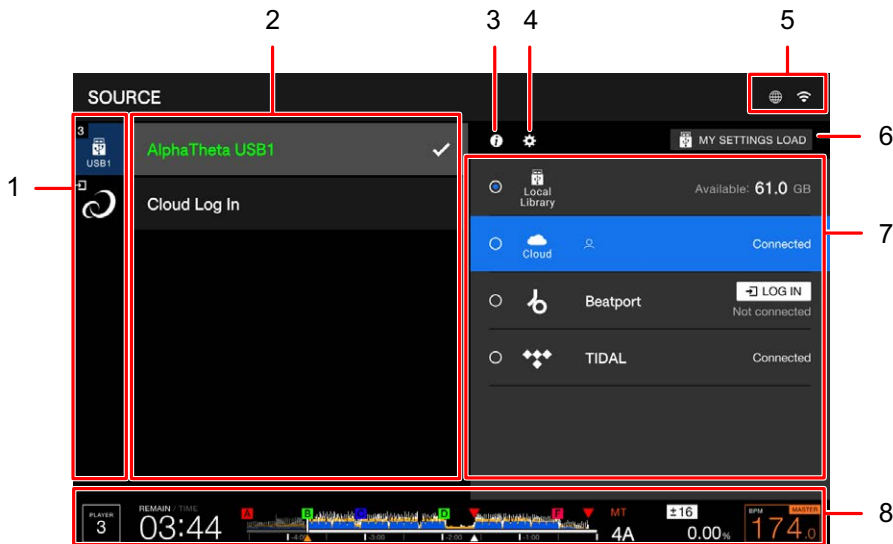
7. USB 端子

USB ケーブルで、PC/Mac を接続します。

本体表示部

SOURCE 画面

[SOURCE] ボタンを押すと、ソース選択画面が表示されます。



1. デバイスアイコン

接続されているデバイスを表示します。

- デバイスに[Background Color]が設定されている場合は、その色で表示します。

2. デバイス名/ステータス表示

デバイス名と、デバイスの選択状態を表示します。

3. ⓘ (INFO)

ハイライトされているデバイスの情報を表示/非表示します。

4. ⚙ (DEVICE SETTINGS)

[Local Library]、[Cloud Library]、[Streaming] タブのいずれかを選択して、それぞれ以下を設定できます。

[Local Library]

- [Waveform Divisions] : 全体波形のプレーイングアドレスの下に表示する内容を設定します。
- [Image On-Jog Display] : ジョグ表示部に表示するアートワークを設定します。
- [Background Color] : 選択中の記録メディアに保存したバックグラウンドカラーを設定します。画面表示の一部の色を変更します。

- **[MY SETTINGS LOAD]**：選択中の記録メディアに保存したUTILITY設定とその他の設定内容を読み出します。

⇒「記録メディアから My Settings を読み込む」(113 ページ)

[Cloud Library]

- **[Waveform Divisions]**：全体波形のプレーイングアドレスの下に表示する内容を設定します。
- **[Image On-Jog Display]**：ジョグ表示部に表示するアートワークを設定します。
- **[Background Color]**：選択中の記録メディアに保存したバックグラウンドカラーを設定します。画面表示の一部の色を変更します。
- **[Display username on-screen]**：クラウドに登録したニックネームを本体表示部に表示するかどうかを設定します。
- **[Log Out Time]**：クラウドサーバーにログインしたまま rekordbox CloudDirectPlay およびストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）を利用しなかった場合に、クラウドから自動的にログアウトするまでの時間を設定します。**[Cloud Log In]**を使用してクラウドにログインしたときにのみ表示されます。
- **[MY SETTINGS LOAD]**：クラウドに保存したUTILITY設定とその他の設定内容を読み出します。

⇒「記録メディアから My Settings を読み込む」(113 ページ)

[Streaming]

- **[TIDAL]**：TIDALの曲を使用するときにクラウドに登録する楽曲のファイル形式を指定します。すでにクラウドのデータベースにファイル形式が登録されている場合は、データベースの設定が優先されます。

5. 接続状態アイコン

- （インターネット接続アイコン）：インターネット接続の状態を表示します。
- （Wi-Fi接続アイコン）：Wi-Fi接続の状態を表示します。

6. MY SETTINGS LOAD

選択中の記録メディアに保存したUTILITY設定とその他の設定内容を読み出します。

⇒「記録メディアから My Settings を読み込む」(113 ページ)

7. ライブラリ表示

ライブラリを表示します。

- **[Local Library]**：記録メディア（選択中）のrekordboxのライブラリをブラウズできます。
- **[Cloud]**：クラウドにログイン後、クラウド上のrekordboxのライブラリをブラウズできます。
⇒「rekordbox CloudDirectPlayへログインする」(46 ページ)
- **[Beatport]**：Beatportにログイン後、ブラウズできます。
⇒「Beatport Streamingへログインする」(51 ページ)

— [TIDAL] : TIDALにログイン後、ブラウズできます。

⇒「[TIDALへログインする]」(52 ページ)

8. 再生状態表示

ロード中のトラックの再生状態を表示します。

⇒「[再生画面 (WAVEFORM画面)]」(23 ページ)

ブラウズ画面

[BROWSE]、[TAG LIST]、[PLAYLIST] ボタンを押すと、ブラウズ画面（トラックリスト）が表示されます。

記録メディアやrekordbox CloudDirectPlay、接続されたPC/Macおよびモバイルデバイス上のrekordboxのライブラリ、ストリーミングサービス (Beatport、TIDAL) をブラウズできます。

- BROWSE 画面で、rekordboxのライブラリ情報が入っていない記録メディアをブラウズしたときは、フォルダーとトラックを階層構造でリスト表示します。

[BROWSE] ボタンを押したとき



1. カテゴリー

カテゴリーを表示します。

- カテゴリーの種類は、rekordboxの[環境設定]で設定できます（ストリーミングサービス (Beatport、TIDAL) は、カテゴリーの種類をrekordboxで設定することはできません）。

2. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます。

3. (BACK)

上の階層を表示します。

4. 上位階層表示

表示されている項目の上位フォルダー、デバイス名、またはニックネームを表示します。

5. トラックリスト

選択している階層やプレイリスト内のトラックリストを表示します。

- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます。サブカラムの種類は、rekordboxの[環境設定]で設定できます（ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）は、サブカラムの種類をrekordboxで設定することはできません）。

6. PREVIEW

[Preview]カラムを表示/非表示します。

7. フォントサイズ

フォントサイズを変更します。

8. (INFO)

ハイライトされているトラックの詳細情報を表示/非表示します。

9. 接続状態アイコン

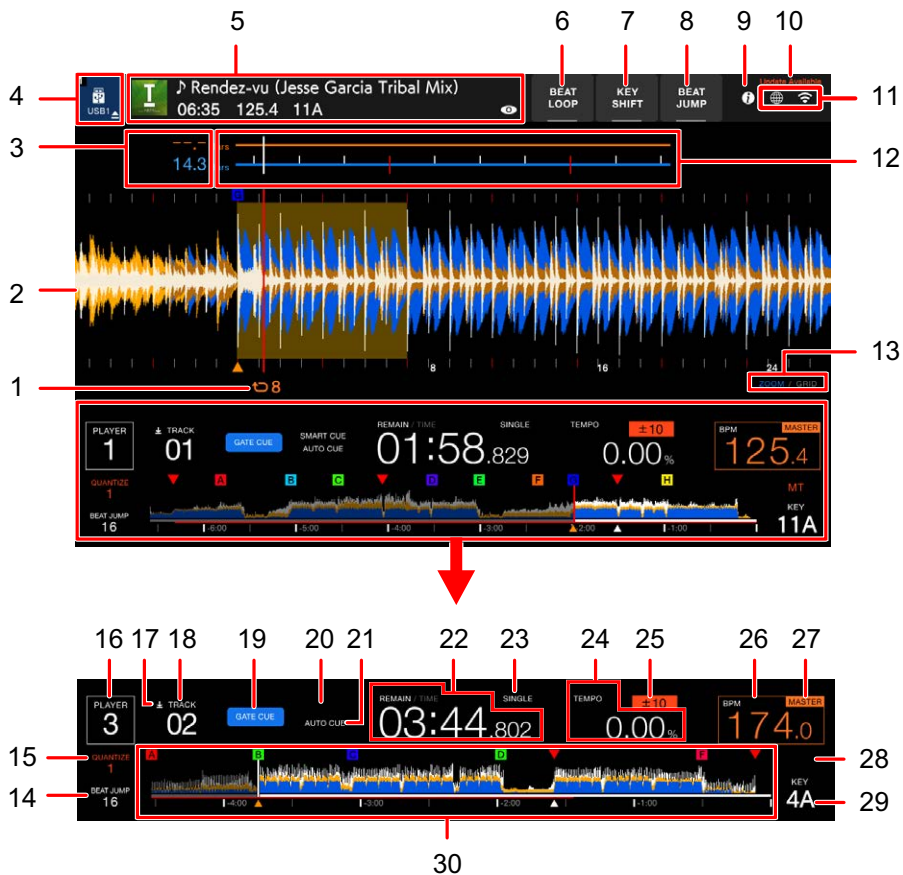
-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。

10. 再生状態表示

ロード中のトラックの再生状態を表示します。

⇒「再生画面（WAVEFORM画面）」（23 ページ）

再生画面（WAVEFORM 画面）



1. ループ拍数

ループの拍数を表示します。

2. 拡大波形

本機またはrekordboxで解析した拡大波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

- [SHORTCUT]画面の[Waveform Color]で波形の色を変更できます。

⇒ [Waveform Color] (111 ページ)

- 再生中に全体波形をタッチすると、タッチした位置の拡大波形が表示されます。

3. BEAT COUNTDOWN

再生位置から一番近い保存したキューポイントまでの小節数、拍数を表示します。

- 再生中に全体波形をタッチすると、再生位置からタッチした位置までの小節数、拍数を表示します。

4. デバイスアイコン（トラックの格納先）

-  (EJECT) をタッチすると、ロード中の楽曲をアンロードします。UTILITY 設定の [Eject/Load Lock] が [Lock] に設定されているときは、再生中に楽曲をアンロードできません。[Unlock] に設定するか、[▶/II] ボタンを押して一時停止してから  をタッチしてください。

⇒ 「Eject/Load Lock*1」（100 ページ）

5. トラック情報

ロード中のトラック情報を表示します。

トラック情報部をタッチするとトラック名などの情報を表示/非表示できます。

6. BEAT LOOP

⇒ 「WAVEFORM 画面の BEAT LOOP を使う」（79 ページ）

⇒ 「スリップ」（90 ページ）

7. KEY SHIFT

⇒ 「キーシフト」（96 ページ）

8. BEAT JUMP

⇒ 「ビートジャンプ/ループムーブ」（88 ページ）

9. (INFO)

ロード中のトラックの詳細情報を表示します。

10. Update Available

インターネットに接続されているときに、ファームウェアの更新がある場合は、[Update Available]（更新通知）を表示します。

11. 接続状態アイコン

- （インターネット接続アイコン）：インターネット接続の状態を表示します。
- （Wi-Fi 接続アイコン）：Wi-Fi 接続の状態を表示します。

12. WAVEFORM/PHASE METER

マスタープレーヤーとの小節や拍のズレを表示します。

- タッチして、WAVEFORM 表示と PHASE METER 表示を切り替えます。[SHORTCUT] 画面の [Waveform/Phase Meter] で切り替えることもできます。

⇒ 「Waveform/Phase Meter」（110 ページ）

13. ZOOM/GRID ADJUST モード表示

ロータリーセクターを長押しして、ZOOM モードと GRID ADJUST モードを切り替えます。

- ロータリーセクターを回すと、以下の操作が可能です。
 - ZOOM モード：波形を拡大/縮小します。
 - GRID ADJUST モード：ビートグリッドを調整します。

14. ビートジャンプ拍数

[BEAT JUMP ◀, ▶] ボタンに設定されている拍数を表示します。

- 拍数は、UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [Beat Jump Beat Value] で設定します。

⇒ 「Beat Jump Beat Value*1」 (100 ページ)

⇒ 「Beat Jump Beat Value」 (110 ページ)

15. クオンタイズ拍数

クオンタイズがオンのときに、クオンタイズに設定されている拍数を表示します。

- 拍数は、UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [Quantize Beat Value] で設定します。

⇒ 「Quantize Beat Value*1」 (100 ページ)

⇒ 「Quantize Beat Value」 (110 ページ)

16. プレーヤー番号

本機のプレーヤー番号を表示します。

- プレーヤー番号は、UTILITY 設定の [Player No.] で設定します。

⇒ 「Player No.」 (104 ページ)

17. (ファイルキャッシュ)

ロード中のトラックのファイルキャッシュが完了しているときに表示されます。

18. トラック番号

19. GATE CUE ボタン

ゲートキューのオン/オフを切り替えます。

20. SMART CUE 表示

スマートキューがオンのときに表示されます。

21. AUTO CUE 表示

オートキューがオンのときに表示されます。

22. 時間表示 (分、秒、msec)

残り時間または経過時間を表示します。

23. CONTINUE/SINGLE 表示

本機にロードされているトラックの再生方法を表示します。

- トラックの再生方法は、UTILITY 設定の [Play Mode] で設定します。

⇒ 「Play Mode*1」 (101 ページ)

24. 再生速度

TEMPO スライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

25. 再生速度可変範囲表示

元の再生速度に対して、調整できる範囲を表示します。

26. BPM

再生しているトラックのBPM (Beats Per Minute。1分間の拍数) を表示します。

- 測定値が当社のDJミキサーなどと異なることがあります。測定方法などが異なるためであり、故障ではありません。

27. MASTER/SYNC表示

- **MASTER**：本機がマスタープレーヤーのときに表示されます。
- **SYNC**：ビートシンクがオンのときに表示されます。

28. MT表示

マスターテンポを設定しているときに表示されます。

29. キー

トラックのキー (調) を表示します。

- マスタープレーヤーのトラックと相性が良いキー (近親調) の場合は、緑色で表示します。

30. 全体波形

本機またはrekordboxで解析した全体波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

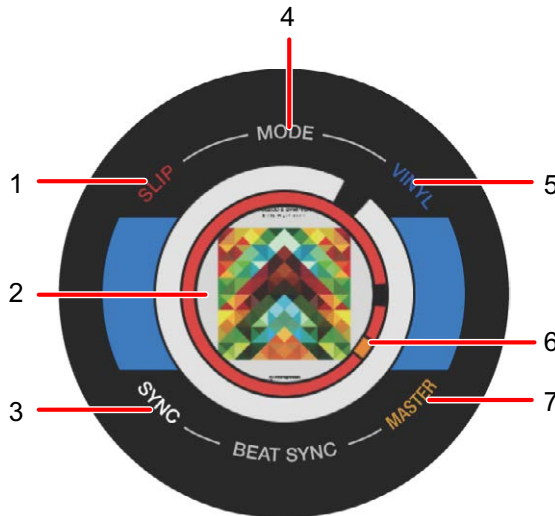
⇒ 「全体波形上の触れた位置から再生する」 (69 ページ)

⇒ 「再生中以外の音声をモニターする (TOUCH CUE)」 (72 ページ)

- **[SHORTCUT]**画面の**[Waveform Color]**で波形の色を変更できます。

⇒ 「Waveform Color」 (111 ページ)

ジョグ表示



1. SLIP 表示

スリップモードがオンのときに点灯します。

2. アートワーク

アートワークを表示します。

- 表示するアートワークは、[SHORTCUT]画面の[Image On-Jog Display]で設定できます。[SOURCE]画面で⚙️をタップし、[Local Library]または[Cloud Library]の[Image On-Jog Display]から設定することも設定できます。

⇒ [Image On-Jog Display] (111 ページ)

⇒ [SOURCE画面] (19 ページ)

3. SYNC 表示

ビートシンクがオンのときに点灯します。

4. 再生位置表示

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

5. VINYL 表示

VINYLモードがオンのときに点灯します。

6. キュー/ループ/ホットキューポイント表示

設定されているキューポイント、ループポイント、ホットキューポイントの位置を示します。

7. MASTER 表示

本機がマスタープレーヤーのときに点灯します。

画面の基本操作

本体表示部の画面は、ロータリーセクターを使って、または画面をタッチして操作します。

❖ ロータリーセクターで操作する

以下の操作が可能です。

操作	説明
回す	カーソルを移動し、選択する項目をハイライトします。
押す	項目の選択を決定します。

❖ タッチディスプレイで操作する

以下の操作が可能です。

操作	説明
	項目の選択を決定します。
タッチ	波形部以外 - 階層をタッチすると、下の階層を表示します。 - トラックをタッチすると、トラックメニューを表示します。
	波形部 ブラウズ画面で、全体波形の任意の位置をタッチしている間、タッチした位置からの音声をモニターできます。
フリック	階層を上下にスクロール表示します。

❖ 階層に戻る

1 コントロールパネル上の[BACK]ボタンを押す

1つ上の階層（前の画面）を表示します。

- [BACK]ボタンを長押しすると、一番上の階層をハイライトします。

接続（基本スタイル）

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

- 付属の電源コードを使用してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- 接続には、以下の製品を使用してください。
 - － 付属のLAN ケーブル（またはSTP（CAT5e シールドケーブル））
 - － 1 Gbps以上のスイッチングハブ
 - － IEEE802.11nまたはIEEE802.11ac対応の無線LAN (Wi-Fi) ルーター（アクセスポイント）
- 上記の条件を満たしているすべての製品における動作を保障するものではありません。

インターネット接続

rekordbox CloudDirectPlay やストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）を利用するには、マルチプレーヤーを無線LAN (Wi-Fi) または有線LAN でルーターに接続します。

❖ インターネット接続についてのご注意

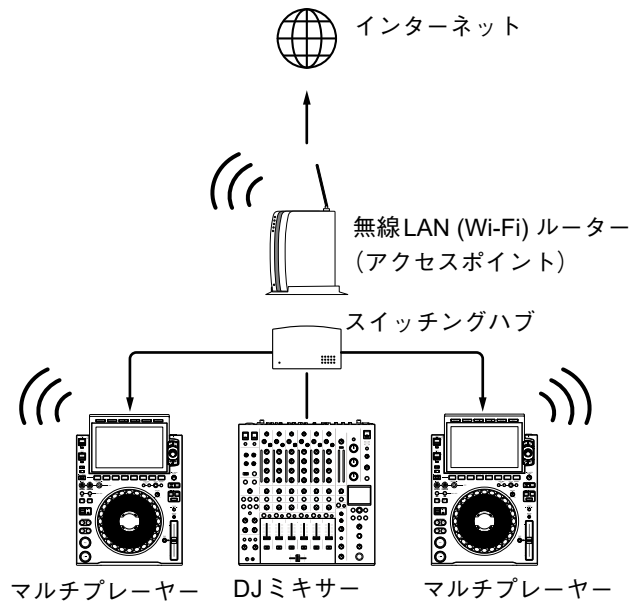
- 本機のネットワークインターフェースは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダなど）の通信回線に直接接続することはできません。本機をインターネットへ接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください（セキュリティの観点から、本機をインターネットに直接接続しないでください。ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください）。

接続（基本スタイル）

❖ 無線LAN (Wi-Fi) 接続

- マルチプレーヤーの無線LAN (Wi-Fi) 接続でルーターに接続します。
- PRO DJ LINK を使用するには、スイッチングハブを使用し、LANケーブルでマルチプレーヤーとDJミキサーを接続してください。

接続図：

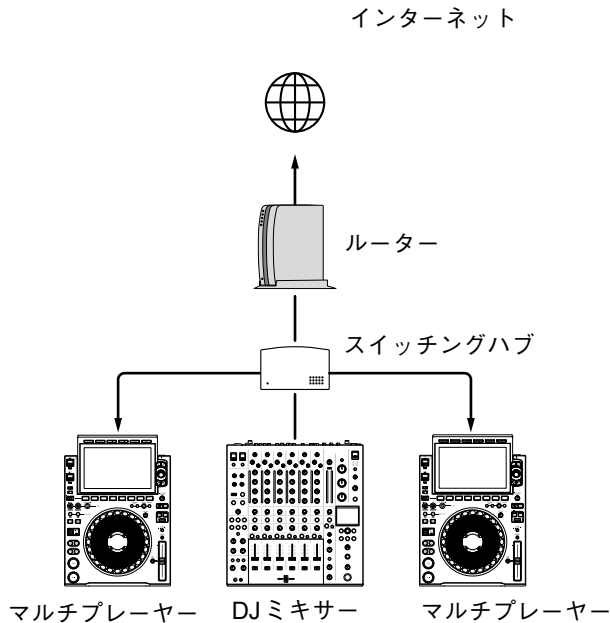


接続（基本スタイル）

❖ 有線LAN接続

- LANケーブルでルーターに接続する場合は、ルーターとスイッチングハブを接続してください。

接続図：

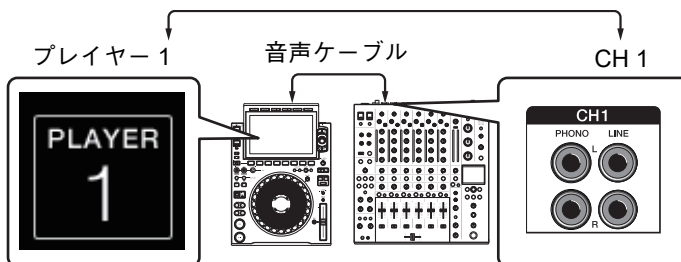


- インターネット接続する際は、ルーターとスイッチングハブが動作していることを確認してから、マルチプレーヤーのLANケーブルを接続してください。
- 大きな会場などで複数のPRO DJ LINKを利用する場合は、PRO DJ LINKごとにルーターを設置して、エリアを分けてください。

PRO DJ LINK 接続

- LANケーブルを使って、DJミキサーに複数台のマルチプレーヤーを接続できます。
- LANポートが1つしかないDJミキサーと接続する場合は、スイッチングハブを使用してください。
- スwitchングハブを使って6台のマルチプレーヤーを接続できるDJミキサーと接続すると、本機を6台まで（2019年以前にリリースのマルチプレーヤーと組み合わせる場合は4台まで）接続できます。
- マルチプレーヤーのプレーヤー番号は、DJミキサー側の音声ケーブルを接続するチャンネルと同じ番号に設定してください（プレーヤー番号は画面の左下部に表示されます。UTILITY設定の[Player No.]から変更できます）。

⇒ [「Player No.」](#)（104 ページ）



- 接続機器の台数分のLANポートを搭載しているDJミキサーと接続する場合は、スイッチングハブは使用せずに直接LANポートに接続してください。
- PRO DJ LINKで楽曲ファイルなどを共有しているときは、LANケーブルを取り外さないでください。
- LANケーブルを取り外すときは、記録メディアを取り外してから、LANケーブルを取り外してください。
- PC/MacをUSB接続して使用するには、あらかじめrekordbox for Mac/Windows USB接続 (LINK EXPORT) ドライバーソフトウェアをインストールしてください。

⇒ [「ドライバーソフトウェアのインストール」](#)（37 ページ）

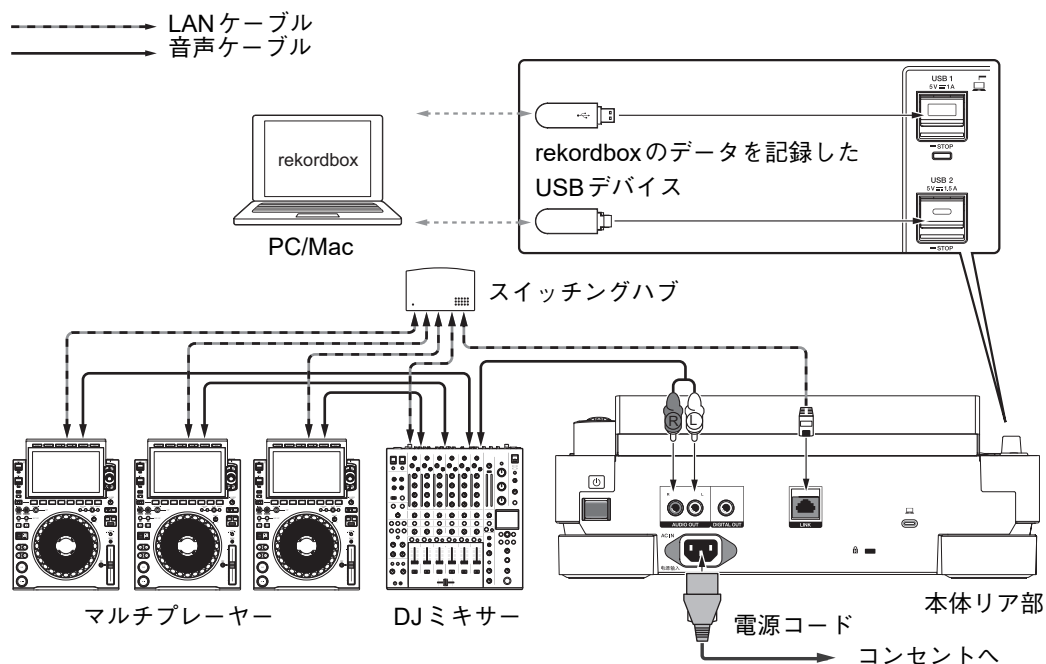
USB Export

USBデバイス（フラッシュメモリー、ハードディスクなど）を使って、rekordboxの楽曲ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- 本機はOneLibraryにのみ対応しています。

⇒ [「OneLibrary」](#)（9 ページ）

接続図（マルチプレーヤーが4台の場合）：



rekordbox LINK EXPORT

rekordboxがインストールされているPC/Macまたはモバイルデバイスと本機をLANケーブル(CAT5e)、USBケーブル、または無線LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox内のトラックを再生できます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- PCをUSB接続して使用するには、あらかじめrekordbox for Windows USB接続 (LINK EXPORT) ドライバーソフトウェアをインストールしてください。

⇒ 「ドライバーソフトウェアのインストール」 (37 ページ)

- rekordbox for iOS/Androidとの接続については、下記のサイトからFAQを参照してください。

iOS:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units/#faq-q100037

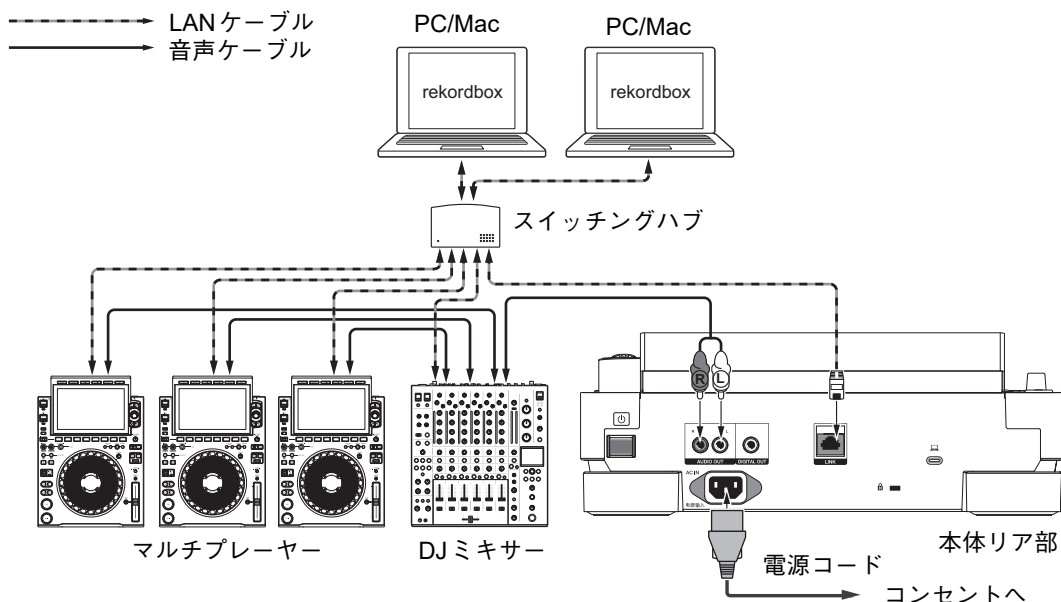
Android:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units-android/#faq-q110039

❖ 有線LAN接続

PC/Macを2台まで接続できます。

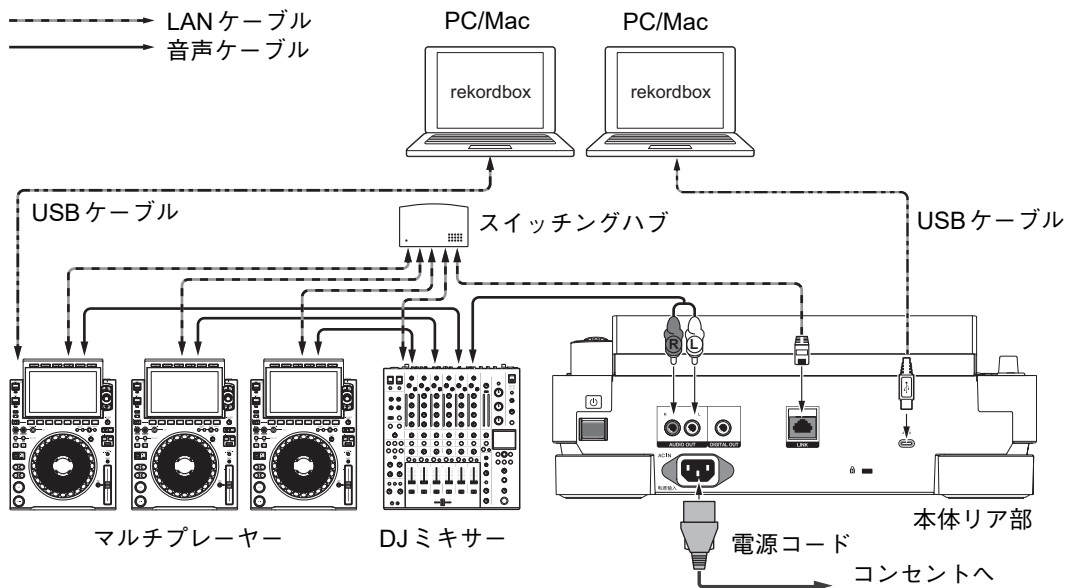
接続図（マルチプレーヤーが4台の場合）：



◆ USB 接続

PC/Mac を 2 台まで接続できます。

接続図（マルチプレーヤーが 4 台の場合）：

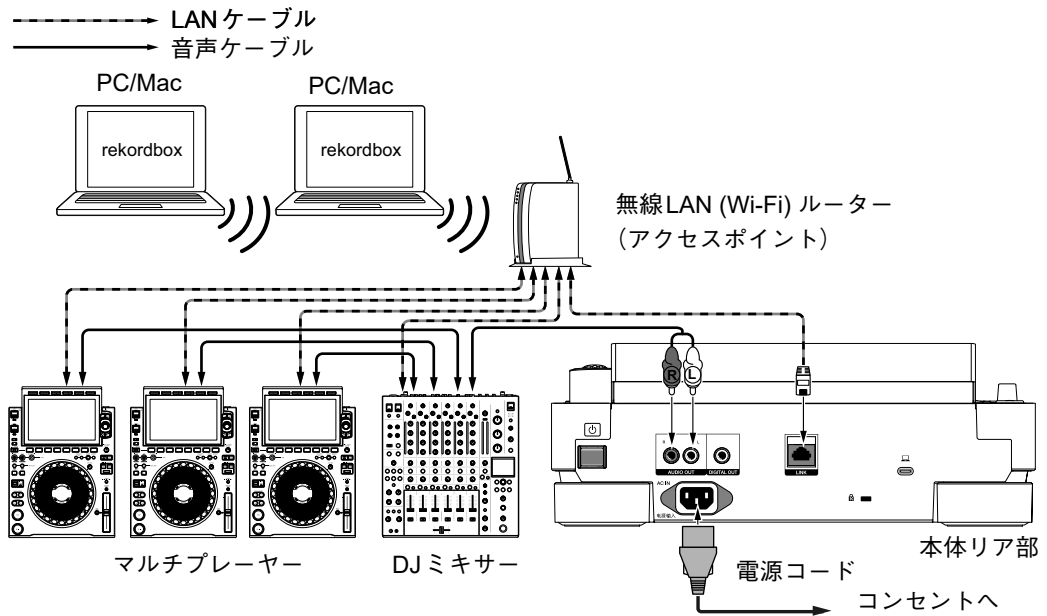


- USB ケーブルは、まっすぐ挿入、または引き抜いてください。上下左右方向に力を加えないでください。

❖ 無線LAN (Wi-Fi) ルーター接続

PC/Macを4台まで接続できます。

接続図（LANケーブルを使うとき/マルチプレーヤーが4台の場合）：



PC/Mac の準備

本機でPC/Mac上のトラックを再生するには、お使いのPCにあらかじめ下記のソフトウェアをインストールしてください。Macをお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアおよびrekordbox for Windows USB接続 (LINK EXPORT) ドライバーソフトウェアのインストールは必要ありません。

- ー 専用オーディオドライバーソフトウェア：DJソフトウェアを使用する際、PCからの音声を出力するためのドライバーソフトウェアです。
 - ー rekordbox for Windows USB接続 (LINK EXPORT) ドライバーソフトウェア：rekordbox for Windowsと本機をUSB接続 (LINK EXPORT) するためのドライバーソフトウェアです。
- インストールの方法については、下記のサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアがインストールされていないPCを本機に接続すると、環境によってはPCにエラーが発生することがあります。
- お使いのPC/Mac上のソフトウェアとの組み合わせによっては、動作に不具合が発生することがあります。

ドライバーソフトウェアのインストール

❖ インストールについてのご注意

- インストールする前に、本機の電源をオフにし、本機とPCを接続しているUSBケーブルを取り外してください。
- インストールする前に、PC上のすべてのアプリケーションを終了してください。
- ドライバーソフトウェアをお使いのPCにインストールするには、管理者権限が必要です。
- インストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- インストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。
- すべてのPC環境において動作保証するものではありません。

ドライバーソフトウェアを入手する

下記のサイトにアクセスして、ドライバーソフトウェアをダウンロードしてください。

alphatheta.com/support/Japan/

ドライバーソフトウェアをインストールする

- 1 インストールファイルをダブルクリックする
- 2 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する]にチェックを入れて[OK]をクリックする
 - 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しないときは、[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。
- 3 画面の指示にしたがって、インストールする

rekordbox CloudDirectPlay

rekordbox CloudDirectPlay を利用すると、クラウドストレージにアップロードした楽曲ファイルを本機にロードし、再生することができます。また、本機でパスワードを入力せずにストリーミングサービス（TIDAL）の楽曲を利用できるようになります。

- 楽曲ファイルをクラウドストレージへアップロードするには、Cloud Library Sync を使用します。クラウドストレージに楽曲ファイルをアップロードすると、お使いの PC/Mac やモバイルデバイス、または本機に、アップロードした楽曲ファイルをロードして再生できるようになります。
- Cloud Library Sync については、Cloud Library Sync 操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

クラウドを利用した楽曲管理などについては、下記のサイトも参照してください。

rekordbox.com

❖ rekordbox バージョン

本機で rekordbox CloudDirectPlay を使用するには、最新バージョンの rekordbox をインストールしてください。

❖ サブスクリプション

Free プランを含むすべてのプランで利用できます。

- プランの詳細については、下記のサイトのプランページを参照してください。

rekordbox.com

❖ クラウドストレージサービス

rekordbox CloudDirectPlay では、Cloud Library Sync で利用しているクラウドストレージサービスを利用します。

- Cloud Library Sync と rekordbox CloudDirectPlay は、Dropbox と Google Drive に対応しています。
- 詳細については、Cloud Library Sync 操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

❖ 回線速度

ライブラリの同期や楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。rekordbox CloudDirectPlay を使用するには、20Mbps 以上の回線速度を推奨します。

❖ 個人利用について

rekordbox CloudDirectPlayでは、個人の複数のPC/Macやモバイルデバイス、本機で同じライブラリを利用できます。複数人で同じライブラリを共有することはできません。

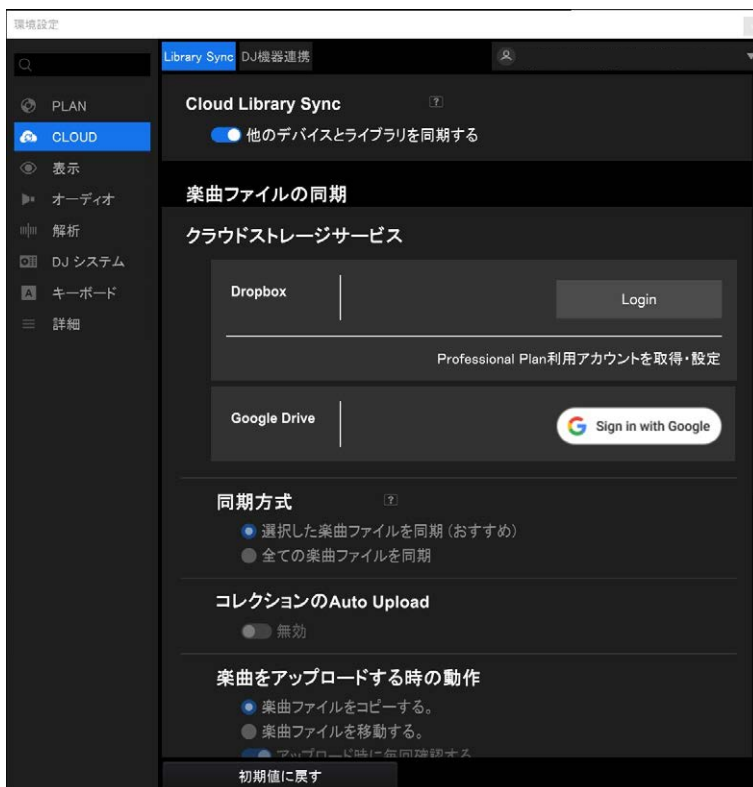
rekordbox CloudDirectPlayの準備をする

rekordbox CloudDirectPlayを利用するには、あらかじめrekordbox for Mac/Windowsまたはrekordbox for iOS/Androidで以下の準備を行ってください。

❖ rekordbox for Mac/Windowsをお使いの場合

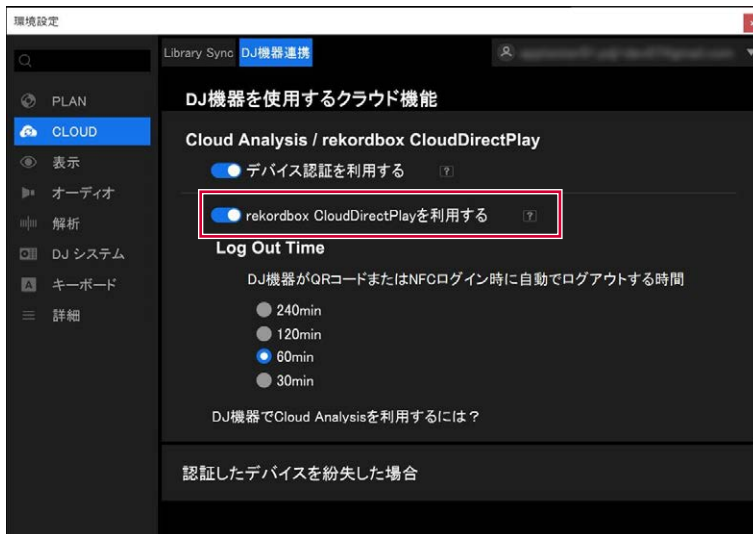
1 rekordbox for Mac/Windowsで、画面右上のをクリックする

[環境設定]ウィンドウが開きます。



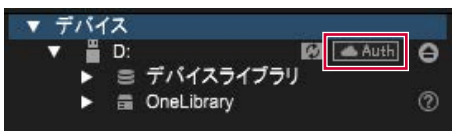
2 [CLOUD]カテゴリの[Library Sync]タブをクリックする

- 3 [Cloud Library Sync]の[他のデバイスとライブラリを同期する]がオンになっていることを確認する
- 4 [CLOUD]カテゴリの[DJ 機器連携] タブをクリックする
- 5 [Cloud Analysis / rekordbox CloudDirectPlay]の[rekordbox CloudDirectPlayを利用する]をオンにする



クラウドサーバーで、ライブラリの変換が開始されます。

変換が完了すると、ツリービューのデバイス名の右側に  **Auth** (認証ボタン) が表示されます。



- ライブラリ内の楽曲ファイル数によって、ライブラリの変換に時間がかかることがあります。
- ライブラリの変換がエラーになると、[rekordbox CloudDirectPlayを利用する]が自動でオフになります。繰り返し変換エラーが発生する場合は、下記のサイトからサポートへお問い合わせください。

rekordbox.com

- [rekordbox CloudDirectPlayを利用する]をオフにすると、同一アカウントで利用しているすべてのデバイスの認証が解除されます。

- [rekordbox CloudDirectPlay を利用する] をオフにしてからオンにすると、再度ライブラリの変換が実行されます。

❖ rekordbox for iOS/Android をお使いの場合

1 rekordbox for iOS/Android で、画面右上の をタップする



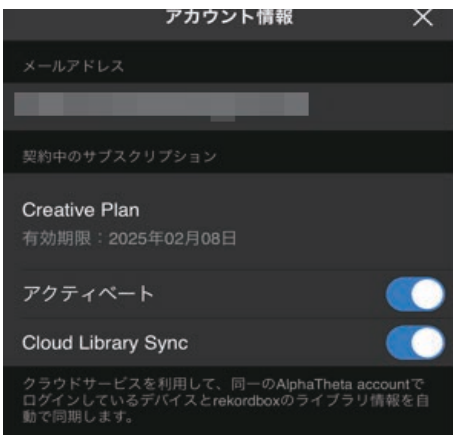
ログイン画面が表示されます。

2 メールアドレスとパスワードを入力し、ログインする

3 画面右上の をタップする

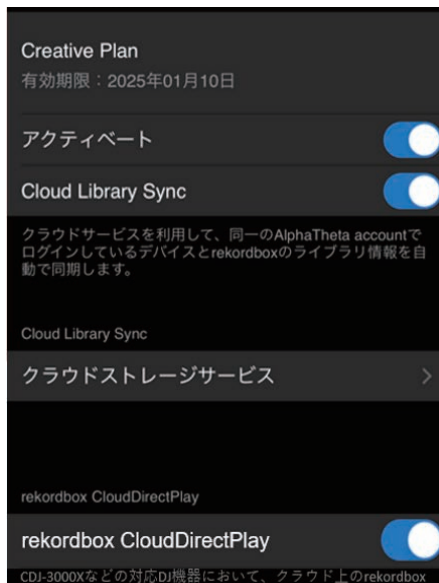
[アカウント情報]画面が表示されます。

4 [アクティベート]と[Cloud Library Sync]をタップしてオンにする



5 Dropbox または Google Drive にログインする

6 [アカウント情報]画面で [rekordbox CloudDirectPlay] をタップしてオンにする

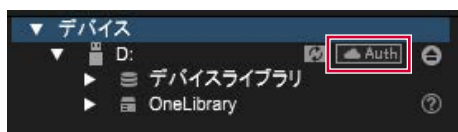


rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイス

rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイスとして使用する USB デバイスを PC/Mac に接続して、認証操作を行います。

USB デバイスを認証する

- 1 USB デバイスを PC/Mac に接続する
- 2 ツリービューのデバイス名の右側にある  **Auth** (認証ボタン) をクリックする



デバイスの認証が完了すると、 **Auth** (認証ボタン) が  (認証済みアイコン) に変わります。

USB デバイスの認証を解除する

- 1 ツリービューのデバイス名の右側にある  (認証済みアイコン) をクリックする

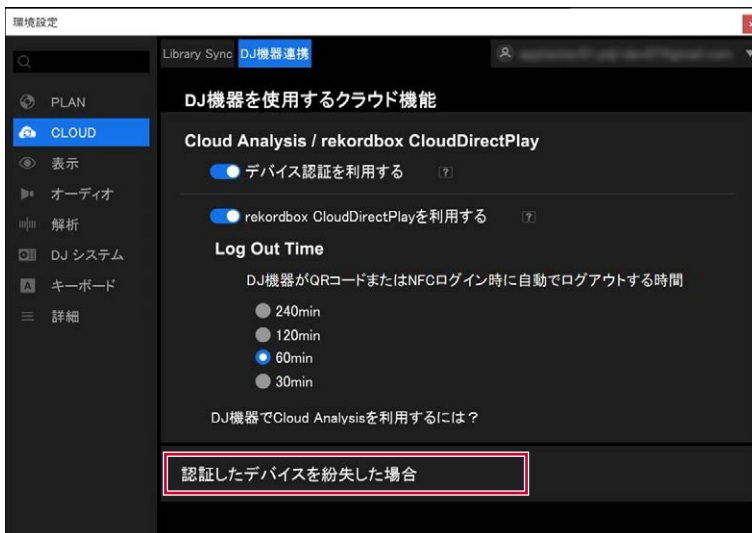
認証が解除されます。

- USB デバイスが、rekordbox で利用しているアカウントと異なるアカウントで認証されている場合は、アカウントを切り替えてから認証を解除してください。
- USB デバイスが他人のアカウントで認証されている場合は、以下のいずれかの方法で認証を解除してください。
 - － 認証した本人の PC/Mac に USB デバイスを接続して認証を解除する
 - － 認証した本人の PC/Mac から Web サイトにアクセスして認証を解除する
⇒ [「Web サイトでデバイスの認証を解除する」](#) (45 ページ)

Web サイトでデバイスの認証を解除する

認証済みのUSBデバイスを紛失した場合などは、Web サイトでデバイスの認証を解除することができます。

- 1 rekordbox for Mac/Windows で、画面右上のをクリックする
- 2 [CLOUD]カテゴリの[DJ 機器連携]タブをクリックする
- 3 [認証したデバイスを紛失した場合]をクリックする



お使いのブラウザにWeb サイトが表示されます。

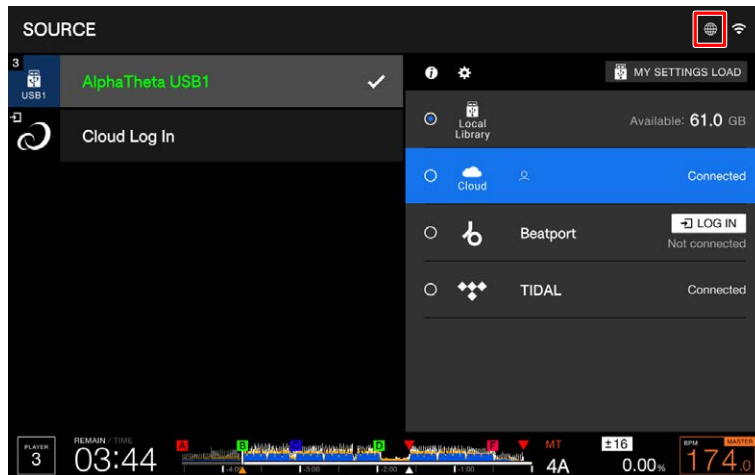
4 Web サイトの指示にしたがって、デバイスの認証を解除する

- ほかのアカウントの認証は解除できません。認証を解除したいデバイスのアカウントに切り替えてから実行してください。

インターネット接続を確認する

rekordbox CloudDirectPlay が利用可能なときは、本機の[**SOURCE**]画面にインターネット接続アイコンが表示されます。

⇒ [「SOURCE 画面」 \(19 ページ\)](#)



-  (グレー) が表示されているときは、rekordbox CloudDirectPlay を利用できません。ネットワーク接続を確認してください。
- インターネットへ接続するには、LAN ケーブルまたは内蔵の無線 LAN (Wi-Fi) を使用してルーターに接続してください。

⇒ [「無線 LAN \(Wi-Fi\) ルーター接続」 \(36 ページ\)](#)

rekordbox CloudDirectPlay へログインする

認証用 USB デバイスを使用するとき

1 rekordbox CloudDirectPlay の認証用 USB デバイスを本機に接続する

自動でログインが開始され、rekordbox CloudDirectPlay が利用可能になります。

認証用USBデバイスを使用しないとき

❖ QRコードログイン

1 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE]画面が表示されます。

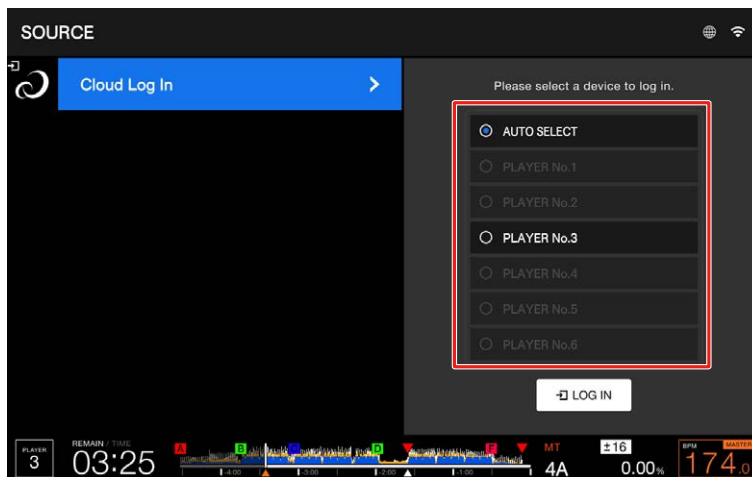
2 [Cloud Log In] を選択して、[LOG IN] をタッチする

3 モバイルデバイスの内蔵カメラでQRコードをスキャンする

4 モバイルデバイスに表示される手順に沿ってログインする

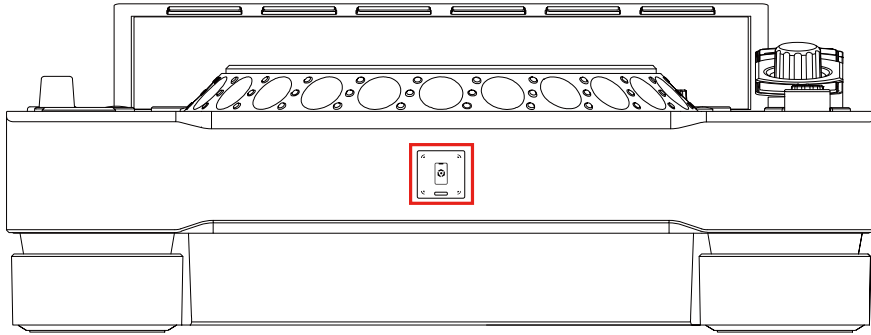
rekordbox CloudDirectPlay が利用可能になります。

- [SOURCE]画面の[Cloud Log In] から、ログインするプレイヤーを選択してログインすることもできます。



❖ NFC ログイン

- 1 本体フロント部のNFC ログインインジケータが点灯しているときに、モバイルデバイス（NFC対応）をNFC ログインタッチエリアにかざしてNFC タグを読み取る



読み取りに成功すると、自動的にクラウドへログインします。

- 本機のフロント部のNFC ログインインジケータが消灯しているときは、クラウドへログインできません。
- 本機のフロント部のNFC ログインインジケータが消灯しているときや、ログインするプレイヤーを選択する場合は、[SOURCE]画面の[Cloud Log In]をタッチし、ログインするプレイヤーを選択して[LOG IN]をタッチしてから、モバイルデバイス（NFC対応）のNFCタグを読み取ってください。
- NFCでログインするには、最新バージョンのrekordbox for iOS/Androidをインストールしてください。
- rekordbox for iOSをお使いの場合は、NFCタグを読み取ったあとにモバイルデバイス上の通知をタッチしてログインしてください。

rekordbox CloudDirectPlay からログアウトする

認証用 USB デバイスを使用しているとき

1 本機から認証用 USB デバイスを取り外す

rekordbox CloudDirectPlay およびストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）からログアウトされます。

⇒ [「USB デバイスを取り外す」](#) (54 ページ)

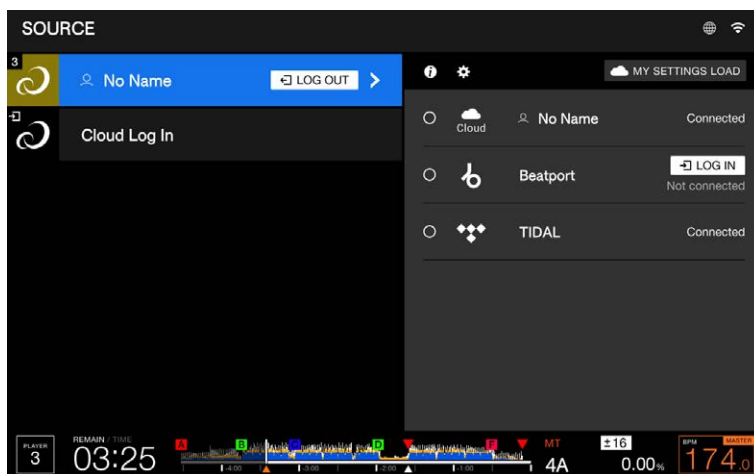
認証用 USB デバイスを使用していないとき

1 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

2 ログイン済みのrekordbox CloudDirectPlayの[LOG OUT]をタッチする

rekordbox CloudDirectPlay およびストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）からログアウトします。



rekordbox CloudDirectPlay による楽曲ファイルの再生

[SOURCE]画面で rekordbox CloudDirectPlay を選択しているときは、クラウドストレージにアップロードされている楽曲ファイルを本機のブラウザ画面から利用することができます。

- 楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。ロードの進行状況は、WAVEFORM画面の全体波形に表示されます。
- 以下の再生機能は、ロード中の楽曲ファイル内のみで使用できます。
 - － メモリーキュー/ループ
 - － ホットキュー/ループポイント
- 楽曲ファイルはトラックリストから1つずつロードするため、以下の機能は使用できません。
 - － TRACK SEARCH
 - － Play ModeのContinue
- rekordbox CloudDirectPlay では、以下の機能は使用できません。
 - － HOT CUE BANK LIST
 - － INTELLIGENT PLAYLIST
- rekordbox CloudDirectPlay へ接続中は、同一アカウントで利用しているほかの rekordbox CloudDirectPlay や Cloud Library Sync で変更した楽曲情報は反映されません。変更した内容を反映するには、rekordbox CloudDirectPlay にログインしなおしてください。

ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）と組み合わせる

rekordbox を使ってストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）の楽曲を含むプレイリストを作成し、クラウドストレージへアップロードすると、本機にロードして再生することができます。

rekordbox CloudDirectPlay とストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）にそれぞれログインして、操作します。

StreamingDirectPlay

ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）上の楽曲を、本機のブラウザ画面から利用することができます。

Beatport Streaming へログインする

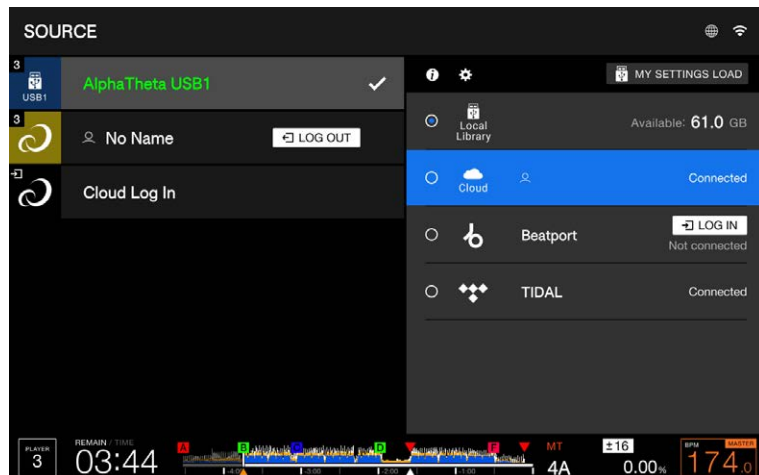
1 rekordbox CloudDirectPlay へログインする

⇒ [「rekordbox CloudDirectPlay へログインする」](#)（46 ページ）

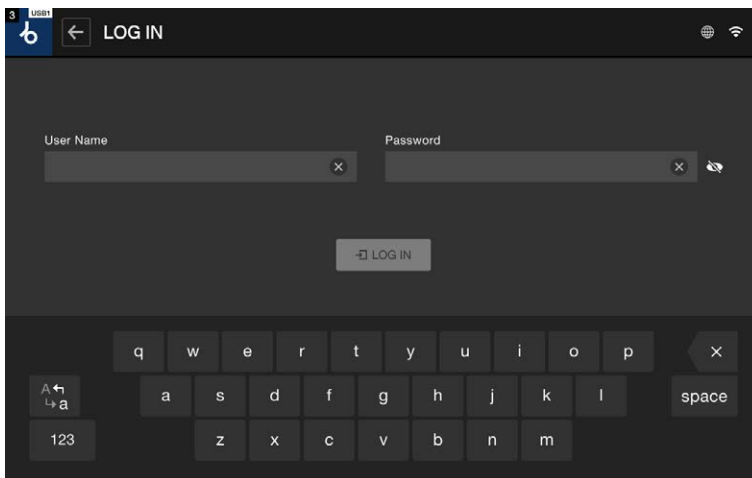
2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE]画面が表示されます。

3 ライブラリ表示で、[Beatport] の [LOG IN] をタッチする



4 Beatport Streaming のアカウント情報(ユーザー名とパスワード)を入力して、ログインする



Beatport Streaming へログインすると、Beatport Streaming の楽曲をブラウザ画面から利用できます。

TIDAL へログインする

1 rekordbox CloudDirectPlay へログインする

rekordbox CloudDirectPlay へログインすると、自動的に TIDAL へのログインが実行されます。TIDAL へログインすると、TIDAL の楽曲をブラウザ画面から利用できます。

⇒ [「rekordbox CloudDirectPlay へログインする」\(46 ページ\)](#)

ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）による楽曲ファイルの再生

[SOURCE]画面のライブラリ表示で[Beatport]または[TIDAL]を選択すると、選択したストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）の楽曲をブラウザ画面から利用することができます。

- 楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。ロードの進行状況は、WAVEFORM画面の全体波形に表示されます。
- 以下の再生機能は、ロード中の楽曲ファイル内のみで使用できます。
 - － メモリーキュー/ループ
 - － ホットキュー/ループポイント
- 楽曲ファイルはトラックリストから1つずつロードするため、以下の機能は使用できません。
 - － TRACK SEARCH
 - － Play ModeのContinue

メディアの挿入と取り外し

USB デバイス

- USB デバイスインジケータ点滅中は、USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。本機の管理データが消去されたり、USB デバイスを読み込めなくなることがあります。
- USB 端子カバーを強く押したり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。

USB デバイスを接続する

- 1 USB 端子カバーを開く
- 2 USB デバイスを止まるまでゆっくりと垂直に差し込む

USB デバイスを取り外す

- 1 USB インジケータの点滅が止まるまで、[USB STOP] ボタンを長押しする
- 2 USB デバイスを垂直に引き抜く
 - 取り外した USB デバイスからプレーヤーにロードしている曲のファイルキャッシュが完了しているときは、アンロードされずに制限つきで再生を継続します。
- 3 USB 端子カバーを閉じる

選曲

ソースを選択する

1 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面に、本機に接続されているデバイスが表示されます。

2 デバイスを選択する

トラックを選択する

ブラウザ画面からトラックを選択する

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

⇒ 「ブラウザ画面」 (21 ページ)

2 トラックを選択する

- UTILITY 設定の[Eject/Load Lock]が[Lock]に設定されているときは、再生中にほかのトラックをロードできません。[Unlock]に設定するか、[▶/||] ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。

⇒ 「Eject/Load Lock*1」 (100 ページ)

最近再生したトラックを選択する (LOAD PREVIOUS TRACK)

1 WAVEFORM 画面で、[MENU] ボタンを押す

過去に再生したトラックリストが表示されます。

2 トラックを選択する

- [MENU] または [BACK] ボタンを押すと、リストを閉じます。

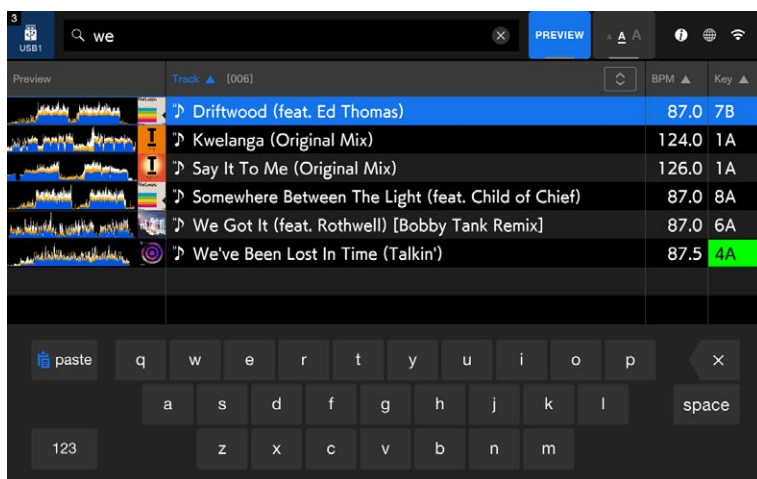
トラックを探す

SEARCH 機能を使って探す

SEARCH 機能は、rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

1 [SEARCH] ボタンを押す

SEARCH 画面が表示されます。



2 キーボードを使ってキーワードを入力する

入力したキーワードを含むトラックが表示されます。

- スペースで区切って、複数のキーワードを指定できます。
- トラック名などを長押ししてコピーし、キーボードの **[paste]** をタッチして文字入力表示部にペーストして検索することもできます。
- Beatport Streaming を使用しているときは、**[MENU]** ボタンを押して検索対象を指定できます。

ジャンプ機能を使って検索する

ジャンプ機能には、2 つのモードがあります。

❖ アルファベットジャンプ

1 アルファベット順表示のリストで、ロータリーセクターを長押しする

アルファベットジャンプモードに切り替わり、ハイライトされているトラックまたはカテゴリーの頭文字が表示されます。

- アルファベットジャンプで表示される文字はA～Z、0～9、および一部の記号です。

2 ロータリーセクターを回して、表示をスクロールする

表示されている文字が頭文字のトラックまたはカテゴリーにカーソルが移動します。

- 表示されている文字から始まるトラックまたはカテゴリーがない場合は、カーソルは移動しません。

❖ ページジャンプ

1 アルファベット順表示以外のリストで、ロータリーセクターを長押しする

ページジャンプモードに切り替わります。

2 ロータリーセクターを回して、ページをスクロールする

各ページのリストの最初のトラックにカーソルが移動します。

TRACK FILTER を使って探す

rekordboxでトラックに付加したタグ情報（マイタグ）やBPM、キーなどの情報を使ってトラックを絞り込みます。TRACK FILTER機能は、rekordboxのライブラリをブラウズしているときに使用できます。

❖ トラックを絞り込む

1 [TRACK FILTER/EDIT] ボタンを押す

現在指定されている条件でトラックが絞り込まれます。

❖ トラックフィルター編集画面で条件を指定する

1 [TRACK FILTER/EDIT] ボタンを長押しする

トラックフィルター編集画面が表示されます。

2 条件を指定します。

- トラックフィルター条件には、トラックに付加したタグ情報（マイタグ）、BPM、KEY、RATING、COLORを設定することができます。
- チェックボックスにチェックマークを付けると、フィルター条件が有効になります。
- [MASTER PLAYER] をタッチすると、マスタープレーヤーに設定されているプレーヤーで再生しているトラックのBPMとキーを取り込みます。
- rekordboxでトラックフィルター条件を設定することもできます。
- 条件設定は、記録メディアごとにそれぞれ記憶されます。

再生中の楽曲のキー（調）を使って探す

マスタープレーヤーにロードされているトラックのキーと相性が良い楽曲のキーが緑色に変わります。

- マスタープレーヤーが設定されていない場合は、この機能は利用できません。

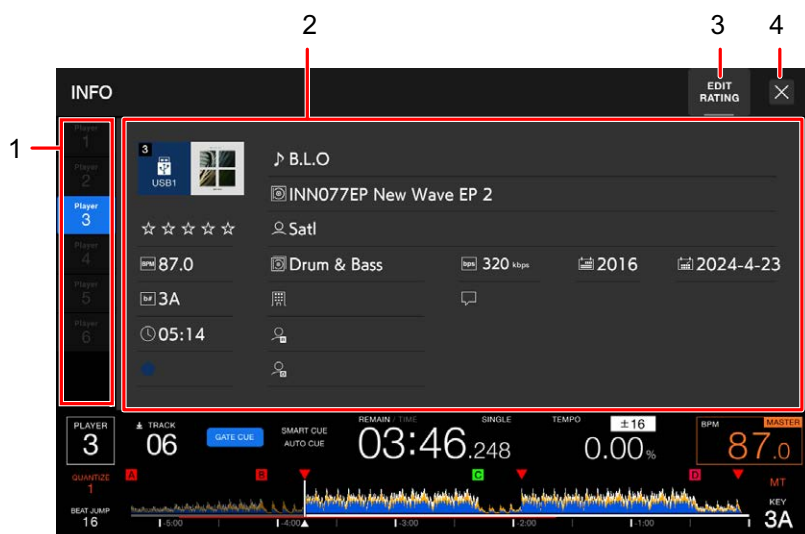
INFORMATION ジャンプ機能を使って探す

詳細情報表示中のトラックと同じジャンルや、BPM 値が近いトラックを探すことができます。

1 WAVEFORM 画面で、 をタッチする

⇒ 「再生画面 (WAVEFORM 画面)」 (23 ページ)

[INFO] 画面が表示されます。



1. **プレーヤー番号**：プレーヤーを切り替えて、各プレーヤーにロードされているトラックの情報を表示します。
2. **トラック詳細情報**
3. **EDIT RATING** ボタン：レーティングを変更できます。
4.  : WAVEFORM 画面に戻ります。

2 トラック詳細情報から、項目を選択する

ブラウズ画面に、選択した項目またはトラックが表示されます。

- 以下のときは、項目が選択できないことがあります。
 - － ブラウズ画面に表示するカテゴリーがない。
 - － トラック詳細情報画面にアイコンだけが表示されている。

ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview)

トラックをロードする前に、DJミキサーで音声をモニターできます。

- 1 本機能対応のDJミキサーと本機をPRO DJ LINK接続する
- 2 DJミキサーにヘッドホンを接続する
- 3 DJミキサーの[LINK CUE]ボタンを押す
- 4 トラックリストで波形をタッチする

タッチした位置から再生が開始され、ヘッドホンで音声をモニターできます。

- 波形をタッチしている間、再生中の音声を出力しながら音声をモニターできます。
- プレーヤーへロードできないトラックはモニターできません。

⇒ [「ブラウズ画面」](#) (21 ページ)

HISTORY を使う

約 1 分間再生したトラックは、HISTORY（演奏履歴リスト）に記録されます。

- 本機に記録メディアを接続すると、記録メディア内に自動で新しい HISTORY が作成されます。
- UTILITY 設定の **[History Name]** で、HISTORY の名前を設定できます。
⇒ [「History Name」 \(105 ページ\)](#)
- 同一のトラックを 2 回以上連続して再生した場合は、HISTORY に記録されないことがあります。
- HISTORY に記録されたトラックは、曲名などが緑色（再生済み）で表示されます。
- rekordbox を使って HISTORY を元にプレイリストを作成できます。詳細については、rekordbox for Mac/Windows のユーザーマニュアルを参照してください。
⇒ [「マニュアルを閲覧する」 \(7 ページ\)](#)

HISTORY を参照する

1 **[BROWSE]** ボタンを押す

BROWSE 画面が表示されます。

2 カテゴリーで **[HISTORY]** を選択する

HISTORY リストが表示されます。

HISTORY を削除する

1 HISTORY リストで、削除したい HISTORY を選んで **[MENU]** ボタンを押す

削除メニューが表示されます。

2 **[DELETE]** または **[ALL DELETE]** を選択する

- **[DELETE]**：選択している HISTORY が削除されます。
- **[ALL DELETE]**：すべての HISTORY が削除されます。

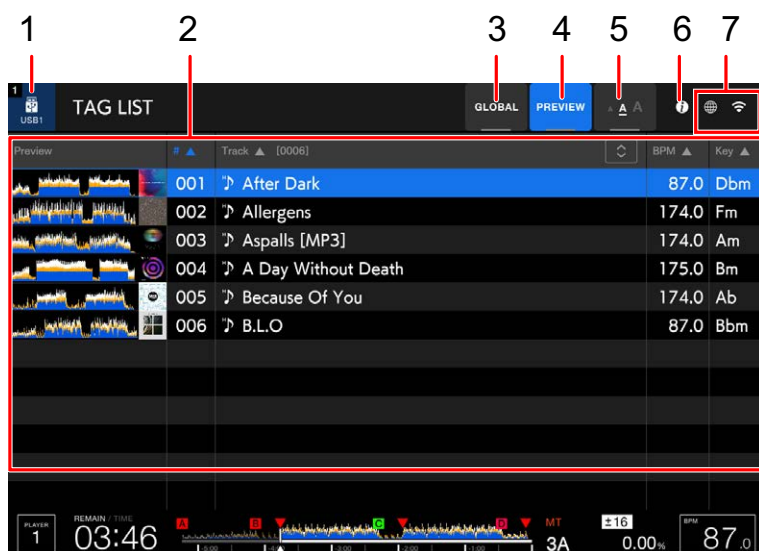
- rekordboxでHISTORYをプレイリストとして取り込むと、取り込まれたHISTORYは記録メディアから削除されます。

タグリストを使う

次に再生するトラックやDJシーンに合わせて選んだトラックを、「タグリスト」に登録しておくことができます。

- タグリストには100トラックまで登録できます。
- 同一フォルダー内の同一トラックを重複して登録することはできません。

タグリスト画面



1. デバイスアイコン

[SOURCE]画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます。

⇒「[SOURCE画面] (19 ページ)」

2. タグリスト

タグリスト内のPreview波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- [Preview]カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます。

⇒「ロードする前に音声を確認する(TOUCH Preview)」(60 ページ)」

- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。

-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます。サブカラムの種類は、rekordboxの[環境設定]で設定できます（ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）は、サブカラムの種類をrekordboxで設定することはできません）。

3. GLOBAL

タグリストの機能を切り替えます。

- [GLOBAL] がオンのとき：記録メディア、rekordbox CloudDirectPlay、ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）などデバイスをまたいでトラックをリストに登録することができます。
- [GLOBAL] がオフのとき：記録メディア、rekordbox CloudDirectPlay、ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）にそれぞれ1つ作成されます。デバイスをまたいでトラックをリストに登録することはできません。

4. PREVIEW

[Preview] カラムを表示/非表示します。

5. フォントサイズ

フォントサイズを変更します。

6. (INFO)

カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示/非表示します。

7. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。

タグリストにトラックを追加する

1. トラックをハイライトする

- フォルダーやプレイリストを選択して、直下に含まれるトラックを一括でタグリストに追加することもできます。

2. [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

タグリストに追加されたトラックにはチェックマークが表示されます。

- WAVEFORM画面または[INFO]画面で[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押して、プレーヤーにロード中のトラックをタグリストに追加することもできます。

タグリストからトラックを削除する

❖ 個別に削除する（TAG LIST 画面）

- 1 トラックをハイライトする
- 2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを長押しする

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 個別に削除する（BROWSE、PLAYLIST、SEARCH 画面）

- 1 トラックをハイライトする
- 2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 一括で削除する

- 1 [TAG LIST] ボタンを押す
[TAG LIST] 画面が表示されます。
- 2 [MENU] ボタンを押す
[MENU] が表示されます。
- 3 [REMOVE ALL TRACKS] を選択する

タグリストからすべてのトラックが削除されます。

- 再生中のトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次のトラックは再生しません。

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストから変換したプレイリストは、[PLAYLIST] カテゴリー内にリスト表示されます。

- 記録メディアまたは rekordbox CloudDirectPlay 内に rekordbox のライブラリ情報が保存されていない場合は、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに、rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックが登録されている場合は、rekordbox で管理されているトラックのみプレイリストに変換されます。
- タグリスト切り替えの [GLOBAL] がオンのときは、タグリストをプレイリストに変換できません。

1 [TAG LIST] ボタンを押す

[TAG LIST] 画面が表示されます。

2 [MENU] ボタンを押す

[MENU] が表示されます。

3 [CREATE PLAYLIST] を選択する

[TAG LIST XXX] という名前のプレイリストに変換されます。

プレイリスト画面を表示する

プレイリスト画面

[PLAYLIST] ボタンを押すと PLAYLIST の内容がリスト表示されます。ブラウズ画面からでも PLAYLIST の内容を表示することができます。

⇒ 「ブラウズ画面」 (21 ページ)



1. プレイリストバンク

プレイリストバンクにプレイリストを登録しておくと、階層移動することなくプレイリストを表示することができます。

⇒ 「プレイリストバンクにプレイリストを追加する」 (68 ページ)

2. カテゴリー

[PLAYLIST] カテゴリーを表示します。

3. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます。

⇒ 「SOURCE 画面」 (19 ページ)

4. ◀ (BACK)

上の階層を表示します。

5. 上位階層表示

表示されている項目の上位フォルダー、デバイス名、ニックネームを表示します。

6. EDIT

ロータリーセクターまたは画面のタッチ操作により、プレイリストに追加したトラックを並べ替えたり削除することができます。

7. PREVIEW

[Preview] カラムを表示/非表示します。

8. フォントサイズ

フォントサイズを変更します。

9. ⓘ (INFO)

カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示/非表示します。

10. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。

11. トラックリスト

プレイリスト内のPreview波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- [Preview] カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます。
⇒ 「ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview)」 (60 ページ)
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます。サブカラムの種類は、rekordboxの[環境設定]で設定できます（ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）は、サブカラムの種類をrekordboxで設定することはできません）。

❖ プレイリスト内のトラックを再生済みまたは未再生に変更する

- プレイリスト以外でも、トラックを再生済みまたは未再生に変更することができます。

1 プレイリスト内のトラックを選択しているときに、[MENU] ボタンを押す

[MENU] が表示されます。

2 [PLAYED] または [UNPLAYED] を選択する

- [PLAYED]：未再生のトラックを再生済みに設定します。再生済みに変更したトラックは、文字が緑色に変更され、HISTORY（演奏履歴リスト）に登録されます。再生済みのトラックを選択しているときは、[PLAYED] は選択できません。

- **[UNPLAYED]**: 再生済みのトラックを未再生に設定します。未再生に変更したトラックは、文字が白色に変更され、HISTORY（演奏履歴リスト）から削除されます。未再生のトラックを選択しているときは、**[UNPLAYED]**は選択できません。

❖ プレイリストを削除する

1 **[PLAYLIST]**画面で、**[MENU]**ボタンを押す

[MENU]が表示されます。

2 **[DELETE]**または**[ALL DELETE]**を選択する

- **[DELETE]**: 選択しているプレイリストが削除されます。
- **[ALL DELETE]**: すべてのプレイリストが削除されます。

プレイリストバンクにプレイリストを追加する

1 **[PLAYLIST]**画面で、プレイリストをハイライトする

2 グレーアウト表示されているプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストが登録されると、プレイリストバンクのアイコンが白色に変わります。

- 白色アイコンのプレイリストバンクを選択すると、登録したプレイリストのトラックリストが表示されます。

プレイリストバンクからプレイリストの登録を解除する

1 プレイリストバンクでを選択する

登録解除モードになり、プレイリストバンクアイコンに×が表示されます。

2 登録を解除するプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストの登録が解除され、登録解除モードがオフになります。

再生

再生 / 一時停止する

1 [▶/⏸] ボタンを押す

- 一時停止中：再生を開始します。
- 再生中：一時停止します。
- UTILITY 設定の[**Play Mode**]が[**Single**]に設定されているときは、次のトラックは再生されません。
⇒ [「Play Mode*1」 \(101 ページ\)](#)
- VINYL モードで一時停止すると無音になります。CDJ モードで一時停止すると音声が入切れ途切れに出力されます。
⇒ [「操作モードを切り替える」 \(73 ページ\)](#)

全体波形上の触れた位置から再生する

1 一時停止中、またはVINYL モードでジョグの天面を押しているときに、全体波形をタッチする

タッチした位置から再生を開始します。

- 全体波形にタッチしたまま指を移動させると、目的の位置まですばやく移動できます。

逆再生する

❖ スリップリバーズ

1 [SLIP REV, FWD, REV] レバーを [SLIP REV] 側に倒す

逆再生を開始するとボタンが点灯し、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

- 操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

❖ リバーズ

1 [SLIP REV, FWD, REV] レバーを [REV] 側に倒す

逆再生を開始します。

- ジョグの回転方向の動作も逆になります。

再生中の基本操作

機能	説明
早送り / 早戻し	[SEARCH ◀▶, ▶▶] ボタンを押し続けている間、早送り / 早戻しします。
頭出し（トラックサーチ）	[TRACK SEARCH ▶▶] ボタンを押すと、次のトラックの先頭にジャンプします。 [TRACK SEARCH ◀◀] ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと、ひとつ前のトラックの先頭にジャンプします。
フレームサーチ	一時停止中に [SEARCH ◀▶, ▶▶] ボタンを押す、またはジョグを回すと、一時停止位置を移動します。

再生速度を調整する（テンポコントロール）

1 TEMPO スライダーを動かす

- [＋] 側に動かす：再生速度が速くなります。
 - [－] 側に動かす：再生速度が遅くなります。
- [TEMPO ±6/±10/±16/WIDE] ボタンを押すたびに TEMPO スライダーの可変範囲が ±6(0.02%) → ±10(0.05%) → ±16(0.05%) → WIDE(0.5%) と切り替わります*。
[WIDE] の調整範囲は ±100% です。-100% に設定すると、再生が停止します。
* () 内は調整単位。
 - [TEMPO RESET] ボタンを押すと [TEMPO RESET] インジケーターが点灯し、TEMPO スライダーの位置に関係なく、トラックをオリジナルの速度で再生します。

音程を変えずに再生速度を調整する（マスターテンポ）

マスターテンポをオンにすると、TEMPO スライダーで再生速度を変えても音程が変わりません。

1 [MASTER TEMPO] ボタンを押して、マスターテンポをオンにする

- マスターテンポをオンにすると、ボタンが点灯します。
- もう一度 [MASTER TEMPO] ボタンを押すと、マスターテンポがオフになります。

再生中以外の音声をモニターする (TOUCH CUE)

再生中に全体波形をタッチすると、再生中の音声を出力しながら、タッチした位置からの音声をDJミキサーでモニターできます。

- 1 本機能対応のDJミキサーと本機をPRO DJ LINK接続する
- 2 DJミキサーにヘッドホンを接続する
- 3 DJミキサーの[LINK CUE]ボタンを押す
- 4 WAVEFORM画面で、全体波形をタッチする

タッチした位置の音声をヘッドホンでモニターできます。

- タッチした位置の波形が拡大波形に表示されます。
- 再生中の音声を出力しながら、波形をタッチしている間、音声をモニターできます。

ジョグの操作

操作モードを切り替える

1 [JOG MODE] ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のモードが切り替わります。

- **VINYL モード**：ジョグの天面を押すと再生を停止します。押しながら回転させるとスクラッチできます。
- **CDJ モード**：ジョグの天面の操作で、再生の停止やスクラッチはできません。

ジョグを操作する

ジョグで以下の操作が可能です。

機能	説明
ピッチベンド	再生中に外周部分を右に回すと再生速度が加速し、左に回すと減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。 • ジョグモードがCDJモードのときは、ジョグの天面を押しながら回すことによって、同じ操作ができます。
スクラッチ	ジョグモードがVINYLモードのときに、再生中にジョグの天面を押したまま回転させるとスクラッチできます。ジョグの天面から手を離すと、通常の再生に戻ります。
フレームサーチ	一時停止中にジョグを回すと一時停止位置を移動します。
スーパーファストサーチ	[SEARCH ◀▶] ボタンを押しながらジョグを回すと、高速で早送り / 早戻しします。
スーパーファストトラックサーチ	[TRACK SEARCH ◀▶] ボタンを押しながらジョグを回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。

ジョグの回転負荷を調整する

1 [JOG FEEL] ノブを回す

- 右に回す：負荷が重くなります。
- 左に回す：負荷が軽くなります。

再生と停止の速度を調整する（VINYL モード）

以下の速度を調節します。

- ジョグの天面を押す、または▶/⏮ ボタンを押してから再生が減速して停止するまでの速度
- ジョグの天面を離してから通常の再生に戻るまでの速度

1 [MENU] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 [DJ Settings] の [Vinyl Speed Adjust] で調整方法を選択する

- [Touch&Release]：再生が減速して停止するまでの速度と、通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
- [Touch]：再生が減速して停止するまでの速度を調整します。
- [Release]：通常の再生に戻るまでの速度を調整します。

3 [VINYL SPEED ADJUST] ノブを回して速度を調整する

- 右に回す：速度が遅くなります。
- 左に回す：速度が速くなります。

キュー

あらかじめ設定されているポイントを瞬時に呼び出します。

キューポイントを設定する

❖ 一時停止中

1 [CUE] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 一時停止中に[**SEARCH** ◀◀, ▶▶] ボタンを押す、またはジョグを回すと、一時停止位置を微調整できます。

❖ 再生中

1 [LOOP IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 新しいキューポイントを設定すると、既存のキューポイントは解除されます。
- UTILITY 設定の[**Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)**] を[On]に設定しているときは、ホットキューを設定する、またはホットキューから再生を開始すると、そのポイントが新しいキューポイントとして設定されます。

⇒ [**Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)*1**] (101 ページ)

キューポイントに戻る

1 再生中に[CUE] ボタンを押す

キューポイントに戻り、一時停止します。

キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）

1 キューポイントに戻る

⇒「キューポイントに戻る」（75 ページ）

2 [CUE] ボタンを押し続ける

[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

- [▶/II] ボタンを押すと、[CUE] ボタンを離しても再生を続けます。

キューポイントを保存する

1 キューポイントを設定する

⇒「キューポイントを設定する」（75 ページ）

2 [MEMORY] ボタンを押す

保存したキューポイントを呼び出す

1 キューポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [CUE/LOOP CALL ◀, ▶] ボタンを押す

保存したキューポイントを削除する

1 保存したキューポイントを呼び出す

⇒「保存したキューポイントを呼び出す」(76 ページ)

2 [DELETE] ボタンを押す

オートキューを設定する

トラックをロードしたときや頭出し（トラックサーチ）したときに、トラックの音声が始まる直前に（無音部を飛ばして）自動でキューポイントを設定します。

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT]画面が表示されます。

⇒「SHORTCUT画面から設定を変更する」(109 ページ)

2 [Auto Cue]の[ON]をタッチする

オートキューがオンになると、WAVEFORM画面に[AUTO CUE]が表示されます。

- 電源をオフにしてもオートキューの設定は保持されます。
- UTILITY設定の[Auto Cue Level]で、無音部として認識する音圧レベルを設定できます。
⇒「Auto Cue Level*1」(101 ページ)

ループ

指定した区間を繰り返し再生します。

ループを設定する

手動設定

- 1 再生中に、ループ再生を開始する位置（ループインポイント）で **[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)]** ボタンを押す
- 2 ループ再生を終了する位置（ループアウトポイント）で **[LOOP OUT (OUT ADJUST)]** ボタンを押す

設定した区間のループ再生を開始します。

自動設定

❖ 4ビートループ

- 1 再生中に **[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)]** ボタンを長押しする

トラックのBPMに合わせて、ボタンを押した位置から4拍のループ再生を開始します。

❖ 4 BEAT LOOP (1/2X) ボタンを使う

- 1 再生中に **[4 BEAT LOOP (1/2X)]** ボタンを押す

ボタンを押した位置から4拍のループ再生を開始します。

❖ 8 BEAT LOOP (2X) ボタンを使う

1 再生中に[8 BEAT LOOP (2X)]ボタンを押す

ボタンを押した位置から8拍のループ再生を開始します。

❖ WAVEFORM画面のBEAT LOOPを使う

ループ再生する拍数を指定します。

1 WAVEFORM画面で、[BEAT LOOP]をタッチする

拍数選択画面が表示されます。



2 設定したい拍数をタッチする

選択した拍数でループ再生を始めます。

ループポイントを微調整する

- 1 ループ再生中に、[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)]または[LOOP OUT (OUT ADJUST)]ボタンを押す

ループアジャストモードに切り替わります。

- [LOOP IN/CUE (IN ADJUST)]：ループインポイントを調整します。
- [LOOP OUT (OUT ADJUST)]：ループアウトポイントを調整します。

- 2 [SEARCH ◀, ▶]ボタンを押す、またはジョグを回してループポイントを微調整する

- もう一度[LOOP IN/CUE (IN ADJUST)]または[LOOP OUT (OUT ADJUST)]ボタンを押すか、10秒以上何も操作しないとループ再生に戻ります。

ループの長さを調整する

ループを半分の長さにする

- 1 ループ再生中に[4 BEAT LOOP (1/2X)]または[CUE/LOOP CALL ◀]ボタンを押す

ループの長さが半分になります。

ループを2倍の長さにする

- 1 ループ再生中に[8 BEAT LOOP (2X)]または[CUE/LOOP CALL ▶]ボタンを押す

ループの長さが倍になります。

アクティブループを使う

あらかじめ rekordbox で、保存されたループの1つをアクティブループに設定してください。

1 アクティブループを設定したトラックをロードする

再生位置が設定ポイントを通過すると、自動でループ再生を開始します。

ループ再生を解除する

1 ループ再生中に [LOOP RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループ再生が解除されます。

- もう一度 [LOOP RELOOP/EXIT] ボタンを押すと、設定されているループインポイントからループ再生を開始します。

エマージェンシーループ

本機は、トラックを再生し続けられなくなった場合の音切れを防ぐため、自動でビートループを設定します。

- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。
- エマージェンシーループを解除するには、次のトラックをロードしてください。
- ファイルキャッシュが完了しているときは、エマージェンシーループが設定されずにそのまま制限つきで再生を継続します。

ループポイントを保存する

1 ループポイントを設定する

⇒「ループを設定する」(78 ページ)

2 [MEMORY] ボタンを押す

保存したループポイントを呼び出す

1 ループポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [CUE/LOOP CALL ◀, ▶] ボタンを押す

保存したループポイントを削除する

1 保存したループポイントを呼び出す

⇒「保存したループポイントを呼び出す」(82 ページ)

2 [DELETE] ボタンを押す

- アクティブループに設定されているループを削除した場合は、アクティブループも削除されます。

⇒「アクティブループを使う」(81 ページ)

ホットキュー / ゲートキュー

[HOT CUE] (A～H) ボタンを押すと、瞬時に設定されているポイント呼び出し、再生を開始します。

ホットキューを設定する

1 ホットキューを設定したい位置で[HOT CUE] (A～H) のいずれかのボタンを押す

ホットキューが設定されます。

- ループ再生中の場合は、ループが設定されます。

- 設定できるホットキューは、1曲につき8個までです。
- UTILITY 設定の **[Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)]** が **[On]** のときは、同時にキューポイントとして設定されます。
⇒ [「Overwrite Current Cue with Hot Cue \(Smart Cue\)*1」 \(101 ページ\)](#)
- **[HOT CUE] (A～H)** ボタンは、設定されている内容によって以下のように点灯します。rekordbox で、色を変更することもできます。

設定されている内容	UTILITY 設定の [Hot Cue Color] 設定	
	[Off]	[On]
キューポイント	緑	ボタン固定色
ループ	オレンジ	オレンジ
設定なし	点灯しない	点灯しない

- ホットキューが設定されている **[HOT CUE] (A～H)** ボタンには、ホットキューを設定できません。新しく設定するには、設定されているホットキューを削除してください。
⇒ [「ホットキューを削除する」 \(85 ページ\)](#)

ホットキューから再生する

- 1 ホットキューが設定されている **[HOT CUE]** (A～H) のいずれかのボタンを押す

ホットキューの再生を開始します。

- **[HOT CUE]** (A～H) ボタンで開始したループ再生を解除するには、**[LOOP RELOOP/EXIT]** ボタンを押します。
- UTILITY 設定の **[Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)]** が **[On]** のときは、同時にキューポイントとして設定されます。
⇒ [「Overwrite Current Cue with Hot Cue \(Smart Cue\)*1」](#) (101 ページ)

ホットキューからゲート再生する

- 1 **[MENU]** ボタンを長押し、または **[SHORTCUT]** ボタンを押す

[UTILITY] 画面または **[SHORTCUT]** 画面が表示されます。

- 2 **[Gate Cue]** を **[On]** に設定する

- 再生画面の **[GATE CUE]** でもゲートキューをオンにできます。

- 3 一時停止中に、ホットキューが設定されている **[HOT CUE]** (A～H) のいずれかのボタンを押し続ける

ホットキューの再生を開始し、ボタンを押している間再生を続けます。

- ループが設定されている場合は、ループ再生を開始します。
- ゲート再生中に **▶/III** ボタンを押すと、**[HOT CUE]** (A～H) ボタンを離しても再生を続けます。

ホットキューを削除する

- 1 **[CALL/DELETE]** ボタンを押しながら、**[HOT CUE]** (A～H) のいずれかのボタンを押す

ホットキューが削除されます。

ホットキューを呼び出す

自動呼び出し

記録メディアに保存してあるホットキューを、トラックロード時に自動で呼び出します。

- 1 **[MENU]** ボタンを長押し、または **[SHORTCUT]** ボタンを押す

[UTILITY] 画面または **[SHORTCUT]** 画面が表示されます。

- 2 **[Hot Cue Auto Load]** を **[On]** に設定する

- **[On]** : すべてのトラックのロード時に、自動でホットキューを呼び出します。画面の **[AUTO CUE]** が赤色で点灯します。
- **[Off]** : ホットキューを呼び出しません。

手動呼び出し

UTILITY 設定または **[SHORTCUT]** 画面で **[Hot Cue Auto Load]** が **[Off]** に設定されているときに、再生中のトラックのホットキューを手動で呼び出すことができます。

- 1 **[CALL/DELETE]** ボタンを押す

ホットキューが設定されている **[HOT CUE]** (A～H) ボタンが点滅します。

- 2 **[HOT CUE]** (A～H) のいずれかのボタンを押す

設定されているホットキューを呼び出します。

- 以下の操作を行うと、ホットキュー呼び出しモードがオフになります。
 - ー ホットキューをすべて呼び出す
 - ー **[CALL/DELETE]** ボタンを押す
 - ー 再生するトラックを変更する

ホットキューバンクリストを使う

あらかじめrekordbox for Mac/Windows を使って設定したホットキューバンクリストを、本機の**[HOT CUE]** (A～H) ボタンに設定します。

- ホットキューバンクリストは本機では編集できません。rekordbox を使用してください。詳細については、rekordbox の操作説明書を参照してください。

⇒ [「マニュアルを閲覧する」](#) (7 ページ)

1 **[BROWSE]** ボタンを押す

BROWSE 画面が表示されます。

2 カテゴリーで**[HOT CUE]**を選択する

ホットキューバンクリストが表示されます。

3 ホットキューバンクリストを選択する

選択したホットキューバンクリストに登録されているホットキューが表示されます。

4 ホットキューバンクリストで楽曲をタッチ、または楽曲を選択してロータリーセクターを押す

ホットキューバンクリストに登録されているホットキューが設定されます。

クオンタイズ

キュー、ループインポイント、ループアウトポイント、ホットキューを設定する際に、ビートとタイミングがずれた場合でも、自動で最も近い拍位置にポイントを合わせます。

また、ホットキュー、ループ、逆再生、スリップなどをリズムを崩さずに使用できます。

- rekordbox で解析されていないトラックにはクオンタイズ機能は使用できません。
- クオンタイズに設定されている拍数は、UTILITY設定または[SHORTCUT]画面の[Quantize Beat Value]で設定できます。

⇒ [Quantize Beat Value*1] (100 ページ)

⇒ [Quantize Beat Value] (110 ページ)

クオンタイズを使う

1 [QUANTIZE] ボタンを押す

クオンタイズ機能がオンになり、画面に[QUANTIZE]とクオンタイズの拍数が表示されます。

- もう一度[QUANTIZE] ボタンを押すと、クオンタイズ機能がオフになります。

ビートジャンプ/ループムーブ

再生位置を、ボタンを押した位置から、設定した拍数でジャンプします。

ビートジャンプ/ループムーブを使う

❖ BEAT JUMP ◀, ▶ ボタンを使う

UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [Beat Jump Beat Value] で設定されている拍数でジャンプします。

⇒ 「Beat Jump Beat Value*1」 (100 ページ)

⇒ 「Beat Jump Beat Value」 (110 ページ)

- [CALL/DELETE] を押しながら [BEAT JUMP ◀, ▶] を押すと、設定されている拍数を変更できます。

1 再生中に [BEAT JUMP ◀, ▶] ボタンを押す

ボタンを押した位置から、設定されている拍数でジャンプします。

- ループ再生中の場合は、設定されている拍数でループが移動します。

❖ WAVEFORM 画面の BEAT JUMP を使う

1 WAVEFORM 画面で、[BEAT JUMP] をタッチする

拍数選択画面が表示されます。



2 ジャンプしたい拍数をタッチする

ボタンを押した位置から、選択した拍数でジャンプします。

- ループ再生中の場合は、選択した拍数でループが移動します。

スリップ

スリップモードをオンにすると、以下の操作中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

機能	説明
スリップポーズ	VINYL モードで、再生中に [▶/II] ボタンを押すと、一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。 ⇒ 「操作モードを切り替える」 (73 ページ)
スリップスクラッチ	VINYL モードで、再生中にジョグの天面を操作してスクラッチすると、スクラッチ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。 ⇒ 「操作モードを切り替える」 (73 ページ)
スリップループ	ループ再生を開始すると、ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。 ⇒ 「ループを設定する」 (78 ページ)
スリップビートループ	WAVEFORM 画面で [BEAT LOOP] をタッチし、再生中に拍数をタッチすると、タッチしている間、選択した拍数でループ再生します。ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。 ⇒ 「WAVEFORM 画面の BEAT LOOP を使う」 (79 ページ)
スリップリバー	再生中に [SLIP REV, FWD, REV] レバーを [REV] 側に倒すと逆再生します。逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。 SLIP のオン / オフに関わらず、 [SLIP REV, FWD, REV] レバーを [SLIP REV] 側に倒すと、倒している間スリップリバーを実行します。
スリップホットキュー / ループ	再生中に [HOT CUE] (A ~ H) ボタンを押すと、ホットキュー / ループポイントに戻り、ボタンを押している間再生を続けます。ホットキュー / ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

スリップモードを設定する

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

- スリップ動作中は[SLIP] ボタンが点滅します。
- スリップモード中の現在再生位置は、WAVEFORM画面の全体波形と拡大波形に黄色の線で表示されます。バックグラウンドでの再生位置は、WAVEFORM画面の全体波形に白色の線で表示されます。
- もう一度[SLIP] ボタンを押す、またはトラックをロードするとスリップモードがオフになります。

ビートシンク

ビートシンクをオンにすると、本機で再生するトラックのテンポ(BPM)と拍位置を、マスタープレーヤー（PRO DJ LINK接続）にロードされているトラックに自動で合わせます。

- rekordbox で解析していないトラックはビートシンクできません。
- rekordbox for Mac/Windows をマスターにすることもできます。詳細については、rekordbox の操作説明書を参照してください。

⇒ [「マニュアルを閲覧する」](#) (7 ページ)

ビートシンクを使う

- 1 マスターにするマルチプレーヤーの **[MASTER]** ボタンを押す
- 2 マスターにシンクさせるプレーヤーで、**rekordbox** または本機で解析済みのトラックを再生する
- 3 マスターにシンクさせるプレーヤーの **[BEAT SYNC/INST.DOUBLES]** ボタンを押す

ビートシンクがオンになります。

- マスタープレーヤー以外のマルチプレーヤーのビートシンクがオンのときは、TEMPO スライダーでテンポコントロールできません。
- もう一度 **[BEAT SYNC/INST.DOUBLES]** ボタンを押すと、ビートシンクがオフになります。TEMPO スライダーの位置(BPM)が再生テンポ(BPM)と一致していないときは、ビートシンクの再生テンポを維持しています。TEMPO スライダーを再生テンポに合わせると通常の動作に戻り、TEMPO スライダーでテンポコントロールできるようになります。
- マスタープレーヤー以外のマルチプレーヤーでピッチベンドを行うと、ビートシンクがオフになり、BPM だけが同期します。

マスタープレーヤーを変更する

以下のいずれかの方法で変更します。

- － マスタープレーヤーのトラックを変更、または一時停止する
- － マスタープレーヤーの[MASTER]ボタンを押す
- － マスタープレーヤーに設定するマルチプレーヤーの[MASTER]ボタンを押す

インスタントダブルスを使う

マスタープレーヤーのトラックの再生位置と同じ位置から再生を開始します。

- 1 マスタープレーヤーの再生位置に合わせて再生を開始したいプレーヤーの[BEAT SYNC/INST.DOUBLES]ボタンを長押しする

ビートグリッド

拍位置（ビートグリッド）を調整します。

- rekordbox で解析していないトラックは調整できません。

ビートグリッドを調整する

1 WAVEFORM 画面でロータリーセクターを長押しする

GRID ADJUST モードに切り替わります。

2 ロータリーセクターを回して、ビートグリッドを調整する

- 画面上の以下を使って調整することでもできます。
 - **[SNAP GRID(CUE)]**：設定されているキューポイントに 1 拍目を移動します。
 - **[SHIFT GRID]**：同期中に調整した内容（ピッチベンドなど）を反映します。
 - **[<1/2]、[1/2>]**：1/2 拍単位でビートグリッドを移動します。
 - **[×2]、[×1/2]**：拍数を倍または半分にします。
 - **[拡大]、[縮小]**：先頭のグリッドを基準にグリッド幅 1msec 移動させます。
- **[RESET]** をタッチすると、元のビートグリッドに戻ります。
- もう一度ロータリーセクターを長押しすると、ZOOM モードに戻ります。

キーシンク

本機で再生中のトラックのキー（調）を、マスタープレーヤーにロードされているトラックのキーに合わせて調整します。

- rekordbox で解析していないトラックは調整できません。

キーシンクを使う

1 トラックがロードされているときに、[KEY SYNC] ボタンを押す

以下のうち、変化が少ないキーに調整します。

- 同じ調
- 属調
- 下屬調
- 平行調
- 属調の平行調
- 下屬調の平行調

- [KEY SYNC] または [MASTER TEMPO] ボタンを押すと、元のキーに戻ります。

キーシフト

音程を調整します。

キーシフトを使う

1 WAVEFORM画面で、[KEY SHIFT]をタッチする

キーシフト画面が表示されます。



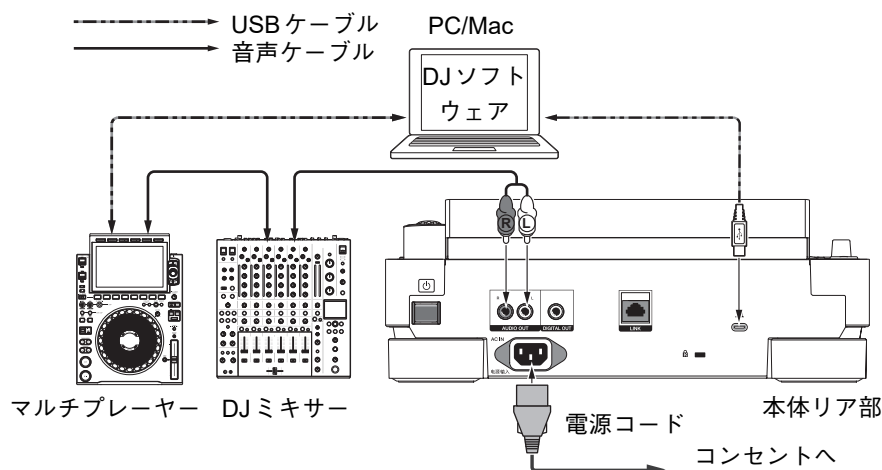
2 [-]または[+]をタッチして、キーを調整する

タッチするごとに、半音ずつ変化します。

- [RESET]をタッチすると元の音程に戻ります。

DJソフトウェアを使う

MIDIまたはHID対応のソフトウェアをインストールしたPC/MacをUSBケーブルを使って接続すると、本機からDJソフトウェアを操作できます。



- 本機でPC上のトラックを再生するには、お使いのPCにあらかじめ指定のオーディオドライバーソフトウェアをインストールしてください。
⇒ [「ドライバーソフトウェアのインストール」](#) (37 ページ)
- 本機のMIDIメッセージについては、下記のサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- お使いのPC/Macに、あらかじめDJソフトウェアをインストールし、オーディオおよびMIDIまたはHIDの設定を行ってください。
- MIDI出力する場合は、UTILITY設定の[MIDI Channel]でMIDIチャンネルを設定してください。rekordboxをお使いの場合は、MIDIの設定は必要ありません。

⇒ [「MIDI Channel」](#) (104 ページ)

DJソフトウェアを操作する

1 本機とPC/Macを接続する

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE]画面が表示されます。

3 [SOFTWARE CONTROL] を選択する

コントロールモードがオンになります。

4 DJソフトウェアを起動する

DJソフトウェアとの通信を開始します。

- ボタンによっては、DJソフトウェアの操作に使用できないことがあります。
- 通信中の DJ ソフトウェア以外のデバイスから本機にトラックがロードされると、コントロールモードがオフになります。

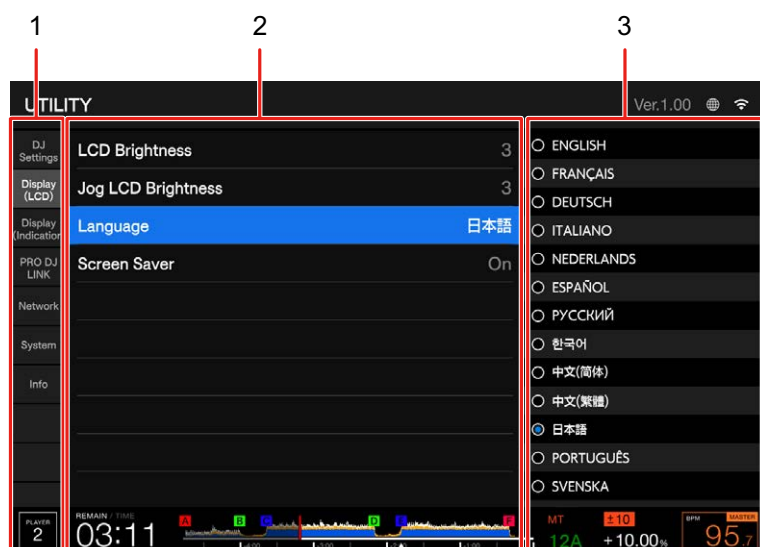
設定

UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面で本機の設定を変更します。また、あらかじめ My Settings（本機の機能設定）を記録メディアに保存しておくと、DJ 交代時などに設定を読み込んで、一括で本機に適用できます。

UTILITY 設定を変更する

1 [MENU] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。



1. カテゴリー
2. 設定項目と現在の設定値表示
3. 設定値

2 カテゴリーを選択する

⇒ 「UTILITY 設定項目」 (100 ページ)

3 設定項目を選択する

4 設定値を選択する

- [MENU] ボタンを押すと、[UTILITY] 画面を閉じます。

UTILITY 設定項目

❖ DJ Settings カテゴリー

設定項目	説明
Eject/Load Lock ^{*1}	Eject Lock：再生中にロードしている曲のアンロードを可能とするかどうかを設定します。 Load Lock：再生中にほかのトラックのロードを可能とするかどうかを設定します。 • 設定値：Unlock^{*2}、Lock • [Eject Lock]： [Unlock]：再生中にロードしている曲をアンロードできます。 [Lock]：再生中にロードしている曲をアンロードできません。 • [Load Lock]： [Unlock]：再生中にほかのトラックをロードできます。 [Lock]：再生中にほかのトラックをロードできません。
Quantize Beat Value ^{*1}	クオンタイズの拍数を設定します。 • 設定値：1/8 Beat、1/4 Beat、1/2 Beat、1 Beat^{*2}
Beat Jump Beat Value ^{*1}	[BEAT JUMP ◀, ▶] ボタンの拍数を設定します。 • 設定値：1/2 Beat、1 Beat、2 Beat、4 Beat、8 Beat、16 Beat^{*2}、32 Beat、64 Beat
Hot Cue Auto Load ^{*1}	トラックのロード時に自動でホットキュー / ループを呼び出すかどうかを設定します。 ⇒ 「自動呼び出し」 (85 ページ) • 設定値：Off、On^{*2}
Hot Cue Color ^{*1}	[HOT CUE] (A ~ H) ボタンの点灯色設定を指定します。 ⇒ 「ホットキューを設定する」 (83 ページ) • 設定値：Off^{*2}、On

設定項目	説明
Gate Cue ^{*1}	ホットキュー / ループを操作するときゲート再生を有効にするかどうかを設定します。 設定値：Off^{*2}、On
Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue) ^{*1}	ホットキュー / ループを設定する、またはホットキュー / ループから再生を開始したときに、そのポイントを新しいキューポイントとして設定するかどうかを設定します。 ⇒「キューポイントを設定する」(75 ページ) ⇒「ホットキューから再生する」(84 ページ) 設定値：Off^{*2}、On
Auto Cue Level ^{*1}	オートキューで無音部として認識する音圧レベルを設定します。 - 設定値：Memory Cue^{*2}、Hot Cue、-78dB、-72dB、-66dB、-60dB、-54dB、-48dB、-42dB、-36dB [Memory Cue]：保存されているキュー / ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。 [Hot Cue]：保存されているホットキュー / ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。
Vinyl Speed Adjust ^{*1}	VINYL モードの再生と停止の速度の調整方法を設定します。 ⇒「再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)」(74 ページ) - 設定値：Touch&Release、Touch^{*2}、Release トラックの再生方法を変更します。 - 設定値：Continue、Single^{*2}
Play Mode ^{*1}	[Continue]：トラックの終わりに到達すると自動で次のトラックをロードします。 [Single]：トラックの終わりに到達すると再生が停止します。次のトラックは自動でロードされません。

*1 PRO DJ LINK カテゴリーの **[Duplication]** を実行すると、設定がコピーされます。

*2 お買い上げ時の設定

❖ Display (LCD) カテゴリー

設定項目	説明
LCD Brightness ^{*1}	画面表示の明るさを調整します。 設定値：1、2、3^{*2}、4、5
Jog LCD Brightness ^{*1}	ジョグ表示部の明るさを設定します。 設定値：1、2、3^{*2}、4、5
Appearance ^{*1}	画面表示モードをダークモードまたはライトモードに変更します。 設定値：Dark^{*2}、Light
Language ^{*1}	画面表示言語を設定します。
Screen Saver	スクリーンセーバーを設定します。 - 設定値：Off、On^{*2} [On]に設定すると、以下のときにスクリーンセーバーが起動します。 - 本機にトラックがロードされていない状態で5分以上何も操作されないとき - 一時停止、キュー待機状態、またはトラックの終わりに到達した状態のまま100分以上何も操作されないとき - 本機を操作するとスクリーンセーバーは解除されます。

*1 PRO DJ LINK カテゴリーの [Duplication] を実行すると、設定がコピーされます。

*2 お買い上げ時の設定

❖ Display (Indicator) カテゴリー

設定項目	説明
Slip Flashing ^{*1}	[SLIP] ボタンを押したときに、スリップ機能が働くボタンなどのインジケータを点滅させるかどうかを設定します。 設定値：Off、On^{*2}
On-Air Display ^{*1}	オンエア表示を表示するかどうか設定します。 設定値：Off、On^{*2}
Jog Ring Brightness ^{*1}	JOG RING ILLUMINATION の明るさを設定します。 設定値：Off、1、2^{*2}
Jog Ring Indicator ^{*1}	トラックの残り時間が少なくなったときに、JOG RING ILLUMINATION を点滅させるかどうかを設定します。 設定値：Off、On^{*2}
Rotary Selector Brightness ^{*1}	ロータリーセクターの LED の明るさを設定します。 設定値：Off、1、2^{*2}

*1 PRO DJ LINK カテゴリーの [Duplication] を実行すると、設定がコピーされます。

*2 お買い上げ時の設定

❖ PRO DJ LINK カテゴリー

設定項目	説明
Player No.	本機のプレーヤー番号を設定します。 - 設定値：Auto^{*2}、1、2、3、4、5、6 - 本機に記録メディアがセットされているときは変更できません。
Duplication	UTILITY 設定やその他の設定を、PRO DJ LINK で接続しているほかのマルチプレーヤーにコピーします。 - 設定値：All^{*2}、Player 1、Player 2、Player 3、Player 4、Player 5、Player 6 - 再生中のマルチプレーヤーには実行できません。 - コピー対象のUTILITY設定は、UTILITY設定項目の表内で*1がついている設定項目です。 ⇒「UTILITY設定項目」(100 ページ) - その他のコピー対象の設定は以下となります。 時間表示方法、オートキュー、操作モード (ジョグ)、テンポレンジ、マスターテンポ、クオンタイズ、ビートシンク、PHASE METER
MIDI Channel	MIDI チャンネルを設定します。 設定値：1^{*2}、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16

*2 お買い上げ時の設定

❖ Network カテゴリー

設定項目	説明
Wi-Fi Setting	無線 LAN (Wi-Fi) ルーターのアクセスポイントを使って本機と接続する設定を行います。 ⇒「無線ネットワークに接続する」(107 ページ) 設定値：Off^{*2}、On

設定項目	説明
Wi-Fi Setting Duplication	無線 LAN (Wi-Fi) ルーターのアクセスポイント接続設定を、PRO DJ LINK で接続しているほかのマルチプレイヤーにコピーします。 - 設定値：All^{*2}、Player 1、Player 2、Player 3、Player 4、Player 5、Player 6 [Wi-Fi Setting]の設定値が[Off]のときは、実行できません。
Wi-Fi Address	無線 LAN (Wi-Fi) の MAC アドレスを表示します。
Ethernet Info	有線 LAN の IP アドレス、MAC アドレスを表示します。

*2 お買い上げ時の設定

❖ System カテゴリー

設定項目	説明
Power Management	パワーマネジメント機能を設定します。 ⇒ 「パワーマネジメント機能」 (106 ページ) 設定値：Never、20min^{*2}
Output Att.	本機から出力する音声の減衰レベルを設定します。 - 設定値：-12dB、-9dB、-6dB、-3dB、0dB^{*2} - DJソフトウェアの使用中は設定が無効となります。
History Name	記録メディアに保存する履歴リストの名前を設定します。 - 半角英数記号で、32文字まで設定できます。 - 名前を変更すると、HISTORYの名前に続く数字が001に戻ります (HISTORYが作成されると順番に追加される番号です)
Demo Mode ^{*1}	全てのボタン LED を点灯させます。 設定値：Off^{*2}、On
Restore Defaults	本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。 設定値：Cancel^{*2}、Ok

*1 PRO DJ LINK カテゴリーの **[Duplication]** を実行すると、設定がコピーされます。

*2 お買い上げ時の設定

❖ Info カテゴリー

設定項目	説明
Serial No.	本機のシリアルナンバーを表示します。
License	本機のライセンスに関する情報を表示します。
Version No.	本機のソフトウェアバージョンを表示します。 ・ インターネットに接続されているときにファームウェアの更新がある場合は、更新通知を表示します。

パワーマネージメント機能

[Power Management] を **[20min]** に設定しているときに、以下の状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。

- ー PRO DJ LINK 接続されていない。
- ー 記録メディアがセットされていない。
- ー USB 端子（本体リア部）に PC/Mac が接続されていない。

本機を操作するとオフモードを解除できます。

- 本機は、パワーマネージメント機能を **[20min]** に設定して出荷しています。
- オフモード中は、**[QUANTIZE]** ボタンが点灯します。
- パワーマネージメント機能を使用しないときは **[Never]** に設定してください。
- パワーマネージメント機能を **[Never]** に設定すると、より多くの電力を消費します。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続

無線ネットワークに接続する

1 [MENU] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 Network カテゴリーを選択して、[Wi-Fi Setting] を選択する

[Wi-Fi Setting] 画面が表示されます。

3 [Wi-Fi] をタッチしてオンにする

ネットワークの検索を開始し、利用可能な SSID の一覧を表示します。



1.  (Wi-Fi 接続アイコン)

2. Wi-Fi オン/オフ

3. SSID 一覧

4 利用するネットワーク名 (SSID) をタッチする

パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを入力して、[CONNECT] をタッチする

接続に成功すると、利用するネットワーク名 (SSID) に **[Connected]** が表示され、SSID 一覧の先頭に表示されます。

- 以前利用したことのあるネットワークの場合は、この操作は必要ありません。
- 利用中のネットワーク名 (SSID) をタッチすると、ネットワーク情報画面が表示され、ネットワーク情報を確認できます。ネットワーク情報画面の **[Auto-Connect]** をオンにすると、次回から自動的に接続を開始します。
- 本機に登録済みのネットワーク名 (SSID) を削除するには、SSID 一覧の最後に表示される **[SAVED NETWORKS]** をタッチします。一覧から削除するネットワーク名 (SSID) を選択して、ネットワーク情報画面の **[FORGET THIS NETWORK]** をタッチします。

SHORTCUT 画面から設定を変更する

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT]画面が表示されます。



1. プレーヤー設定
2. デバイス情報
3. My Settings
4. デバイス設定

2 設定値を選択する

⇒ 「SHORTCUT画面の設定項目」(110 ページ)

- もう一度[SHORTCUT] ボタンを押すと、[SHORTCUT]画面を閉じます。

SHORTCUT 画面の設定項目

設定項目	説明
プレイヤー設定	
Waveform/Phase Meter	再生画面（WAVEFORM 画面）に PHASE METER を表示するか拡大波形を表示するかを設定します。 設定値：PHASE METER、WAVEFORM^{*1}
Time Mode	時間表示の [TIME]（経過時間表示）と [REMAIN]（残り時間表示）を切り替えます。 設定値：REMAIN^{*1}、TIME
Auto Cue	オートキューをオン / オフします。 設定値：OFF、ON^{*1}
Hot Cue Auto Load	
Smart Cue	
Gate Cue	
Quantize Beat Value	
Vinyl Speed Adjust	UTILITY 設定と同様の内容を設定します。 ⇒ 「UTILITY 設定項目」 （100 ページ）
Beat Jump Beat Value	
Appearance	
LCD Brightness	
Jog LCD Brightness	
デバイス情報	楽曲のロード元のデバイスの種類とデバイス名を表示します。

設定項目	説明
デバイス設定	
Waveform Color	波形の色を設定します。 設定値：BLUE、RGB、3 BAND
Waveform Current Position	拡大波形に表示する現在再生位置を設定します。 設定値：CENTER、LEFT
Waveform Divisions	全体波形のプレーイングアドレスの下に表示する内容を設定します。 - 設定値：TIME SCALE、PHRASE [TIME SCALE]：30秒間隔で目盛を表示します。 [PHRASE]：rekordbox で解析した Phrase Data を表示します。 - Phrase Data がない場合は、Time Scale が表示されます。
Image On-Jog Display	ジョグ表示部のアートワーク表示部に表示する内容を設定します。 - 設定値：ARTWORK、CUSTOM IMAGE [ARTWORK]：ロードされているトラックのアートワークを表示します。 [CUSTOM IMAGE]：ロードされているトラックが保存されている記録デバイスの ルート階層または、クラウドに保存してある JPEG データを表示します。800 × 800 ピクセルより大きいサイズの画像は表示できません。
My Settings	
LOAD	記録メディアから My Settings 情報を読み込みます。 ⇒ 「記録メディアから My Settings を読み込む」 (113 ページ)
SAVE	My Settings 情報を記録メディアに保存します。 ⇒ 「My Settings を記録メディアに保存する」 (112 ページ)

*1 お買い上げ時の設定

My Settings を記録メディアに保存する

UTILITY 設定およびその他の設定を記録メディアに保存します。

- 保存対象のUTILITY 設定は、UTILITY 設定項目の表内で*1 がついている設定項目です。
⇒ [「UTILITY 設定項目」 \(100 ページ\)](#)
- その他の保存対象の設定は以下となります。
時間表示方法、オートキュー、操作モード (ジョグ)、テンポレンジ、マスターテンポ、クオンタイズ、ビートシンク、PHASE METER
- PRO DJ LINKで接続しているほかのマルチプレーヤーにセットされている記録メディアや、rekordbox、rekordbox CloudDirectPlay に保存できます。
- rekordboxで本機の設定を行ってから記録メディアに保存し、その設定をほかのプレーヤーに反映することもできます。

1 記録メディアを本機にセットする

⇒ [「メディアの挿入と取り外し」 \(54 ページ\)](#)

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

3 デバイスを選択して、楽曲をロードする

4 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

5 [My Settings] の [SAVE] をタッチする

My Settings 設定が記録メディアに保存されます。

- もう一度 [SHORTCUT] ボタンを押すと、[SHORTCUT] 画面を閉じます。

記録メディアから My Settings を読み込む

記録メディアに保存されている My Settings の設定を、本機に読み込みます。

- PRO DJ LINK で接続しているほかのマルチプレーヤーにセットされている記録メディアや、rekordbox、rekordbox CloudDirectPlay から読み込むことができます。

SHORTCUT 画面から読み込む

1 記録メディアを本機にセットする

⇒ 「メディアの挿入と取り外し」 (54 ページ)

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

3 デバイスを選択して、楽曲をロードする

4 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

5 [My Settings] の [LOAD] をタッチする

My Settings 設定を本機に読み込みます。

- 再生中は実行できません。一時停止してください。
- もう一度 [SHORTCUT] ボタンを押すと、[SHORTCUT] 画面を閉じます。

SOURCE 画面から読み込む

1 記録メディアを本機にセットする

⇒ 「メディアの挿入と取り外し」 (54 ページ)

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

3 デバイスを選択する

4 [MY SETTINGS LOAD] をタッチする

My Settings 設定を本機に読み込みます。

- 再生中は実行できません。一時停止してください。
-  (DEVICE SETTINGS) 画面から My Settings を読み込むこともできます。

⇒ 「SOURCE 画面」 (19 ページ)

スペック

一般

電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	27 W
待機時消費電力 (OFF 時)	0.3 W
本体質量	6.0 kg
外形寸法	(W × D × H) 344.6 × 490.4 × 130.1 mm
許容動作温度	+5 °C ~ +35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

アナログ音声出力 (AUDIO OUT L/R)

出力端子	RCA 端子
出力レベル	2.0 Vrms (1 kHz)
周波数特性	4 Hz ~ 40 kHz
S/N 比	115 dB
全高調波歪率	0.0018 %

デジタル音声出力 (DIGITAL OUT)

出力端子	RCA 端子
出力方式	同軸デジタル (S/PDIF)
出力レベル	0.5 Vp-p (75 Ω)
出力フォーマット	96 kHz, 24bit

USB ダウンストリーム部 (USB)

USB Type-A

電源供給 5 V/1 A 以下

USB Type-C

電源供給 5 V/1.5 A 以下

USB アップストリーム部 (USB)

端子 USB Type-C

LAN (PRO DJ LINK)

規格 1000BASE-T

メインディスプレイ

画面サイズ 10.1 インチ

無線 LAN 部

対応規格 IEEE 802.11 a/b/g/n/ac

使用周波数帯域 2.4 GHz/5 GHz 帯

NFC 部

対応規格 ISO/IEC 15693 (タグ)

本機は、すべての無線LANおよびNFC機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目およびAlphaTheta サポートページから [CDJ-3000X] の [よくある質問 (FAQ)] を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

エラー表示

❖ E-8302 (エラータイプ: CANNOT PLAY TRACK)

- 記録メディア内の楽曲ファイルを正常に読み取れません。楽曲ファイルが破損している可能性があります。
本機で再生可能なフォーマットのファイルを再生できる別のプレーヤーなどを使って、再生できるかを確認してください。

❖ E-8304/E-8305 (エラータイプ: UNSUPPORTED FILE FORMAT)

- 本機が対応していないフォーマットの楽曲ファイルがロードされています。本機が対応しているフォーマットの楽曲ファイルを使用してください。
⇒ 「対応ファイルフォーマット」 (12 ページ)

無線 LAN (Wi-Fi®)

❖ アクセスポイントに接続できない

- ネットワーク名 (SSID)、パスワード、暗号化方式が正しく設定されているか確認してください。ネットワークの設定と本機の設定を合わせてください。

❖ アクセスポイントが見つからない

- 本機と無線LAN (Wi-Fi) ルーター（アクセスポイント）の距離が離れている場合は、距離を近づけてください。
- 本機と無線LAN (Wi-Fi) ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。

rekordbox CloudDirectPlay

❖ 楽曲が表示されない、楽曲のロードができない

- rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android と、クラウドのライブラリの同期が完了していない場合は、ブラウザ画面に楽曲が表示されません。同期が完了してから使用してください。
- Dropbox または Google Drive に楽曲がアップロードされているか確認してください。
ブラウザ画面には、Dropbox または Google Drive にアップロードした楽曲ファイルのみが表示されます。また、アップロードが完了していない場合は、楽曲ファイルをロードできません。あらかじめ、使用したい楽曲ファイルを Dropbox または Google Drive へアップロードしてから使用してください。rekordbox for Mac/Windows、rekordbox for iOS/Android を使ってアップロードできます。
- Dropbox または Google Drive のメンテナンス中や障害発生中は、楽曲ファイルをロードできません。メンテナンス完了後や復旧後に、使用してください。

❖ USB デバイスの容量が足りない

- rekordbox CloudDirectPlay では、Dropbox または Google Drive からロードした楽曲ファイルを USB デバイスに一時的に保存します。快適に使用するには 1GB 以上の空き容量を推奨します。

ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）

❖ ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）を利用できない

- インターネットに接続されているか確認してください。

❖ 楽曲ファイルがトラックリストに表示されない

- ストリーミングサービス（Beatport、TIDAL）を使用する場合、対応したサブスクリプションの契約が必要です。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が現れることがありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所で使用する際は、本機の電源をオンにしたあと液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たって画面表示が見えにくいときは、直射日光をさえぎってください。

クリーニングについて

- 液晶画面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

タッチディスプレイについて

- 操作は指で行い、無理な力をかけないでください。
- 指以外の物、特にボールペン、シャープペンシル、とがった爪先など、先端の硬い物や先端の鋭利なもので操作しないでください。

商標および登録商標について

- rekordbox™は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
- PRO DJ LINK™ は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
- Mac、macOS および Finder は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標または登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android、Google Drive は Google LLC の商標です。
- Dropbox は、Dropbox Inc. の商標または登録商標です。
- Beatport、Beatport Streaming およびそのロゴは、Beatport, LLC の商標または登録商標です。
- TIDAL は、TIDAL MUSIC AS の商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3 の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2025 AlphaTheta 株式会社 禁無断転載
<DRJ1103-C>